取扱説明書

日立液晶テレビ / プラズマテレビ

(地上・BS・110 度 CS デジタルチューナー内蔵)

形名

L32-WP03, L37-XP03/XP035, L42-XP03/XP035
P42-HP03, P42-XP03/XP035, P46-XP03/XP035, P50-XP03/XP035

液晶テレビ

プラズマテレビ

このたびは日立液晶テレビ / プラズマテレビをお求めいただき、ありがとうございました。
本書は、各モデルの共通の取扱説明書となっています。それぞれの機種特有の取り扱いについては、L32-WP03、L37-XP03/XP035、L42-XP03/XP035、P42-HP03、P42-XP03/XP035、P46-XP03/XP035、P50-XP03/XP035 と表記しています。
本文中のイラストは、主に L32-WP03 で説明しています。

最初に この取扱説明書に記載の「使用上のご注意」をお読みください。
本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

特 長

広視野角・高精細フルハイビジョン表示
フル HD 液晶パネル搭載
(L37、L42-XP03/XP035)

フル HD プラズマパネル搭載
(P42、P46、P50-XP03/XP035)

高精細フル HD 対応高性能画像処理エンジン
Picture Master Full HD

デジタル放送、アナログ放送を内蔵のハードディスク (HDD) に録画、再生して楽しめる
250GB HDD 内蔵 (WP03/HP03/XP03 シリーズ)
500GB HDD 内蔵 (XP035 シリーズ)

映画のなめらかな動きを美しく再現
なめらかシネマ
(L32-WP03、L37、L42-XP03/XP035)
(P42、P46、P50-XP03/XP035)

ハイビジョン画質で 8 倍録画
XCodeHD

動きの速い映像もクッキリ
倍速 120 コマ技術搭載
(L32-WP03、L37、L42-XP03/XP035)

出し入れ自由なハードディスク対応スロット
iV ポケット

地上・BS・110 度 CS のデジタル放送を 2 つのチューナーで受信
デジタル放送を視聴しながら別のデジタル放送を裏番組録画
デジタルハイビジョンダブルチューナー内蔵
(CATV パススルー対応)

HDMI-CEC 対応機器と連携した快適操作が可能
Wooo リンク

3 系統 HDMI 端子装備
(L32-WP03、L37、L42-XP03/XP035、P42-HP03)

4 系統 HDMI 端子装備
(P42、P46、P50-XP03/XP035)

SD メモリーカードスロット装備
Wooonet やアクトビラなどのネットサービス対応

ネット TV 対応
ご家庭内の視聴スタイルを広げる
AV ネットワーク対応

本書の見かた

この説明書は、主に下記の内容で構成されています。

使用しているアイコンについて

⚠注意　安全上、守っていただきたいことを記載しています。

お守りください　操作上、守っていただきたいことを記載しています。

お知らせ　操作上、知っておいていただきたいことを記載しています。

メ モ　知っていると便利な操作・解説を記載しています。

📖 マークは、参照ページを表しています。

リモコンのカーソルボタンの記号について

カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

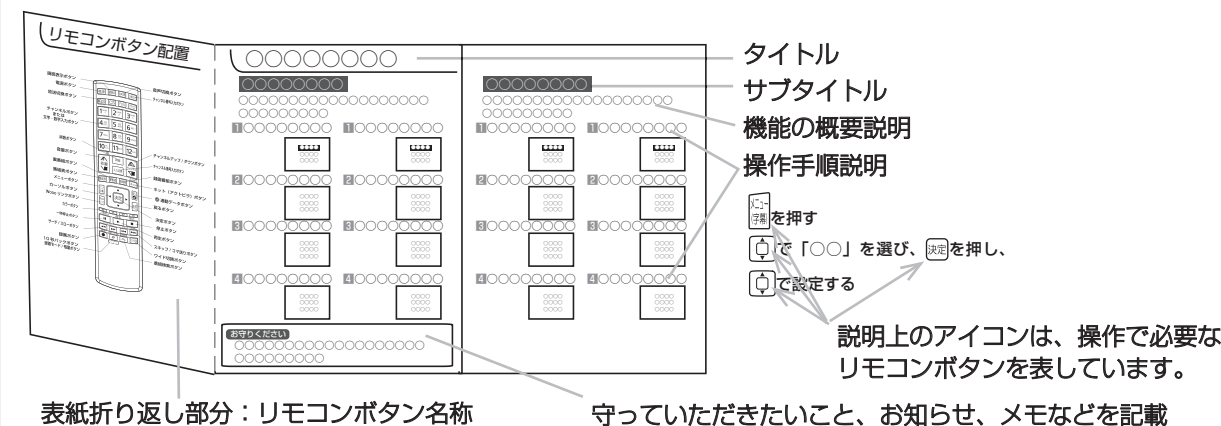
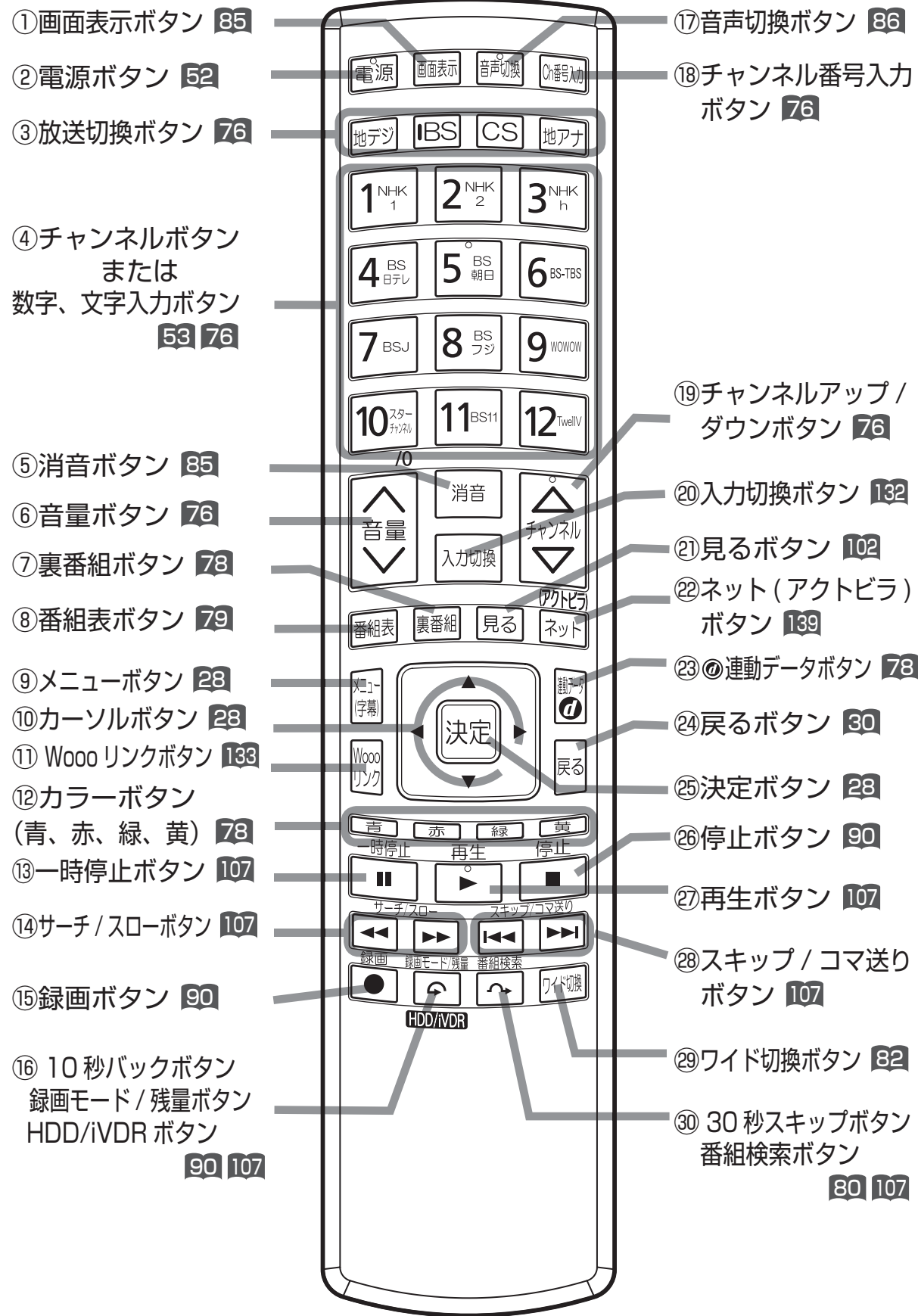
- 上下左右方向の操作
- 左右方向の操作
- 上下方向の操作
- 左方向の操作
- 上方向の操作
- 右方向の操作
- 下方向の操作
- ／ 決定　右方向または決定の操作
- ／ 決定　左方向または決定の操作

各ページの見かたについて

リモコンボタン名称が記載された表紙の折り返し部分を開き、各ページをご覧ください。

リモコンボタン配置

①画面表示ボタン 85
②電源ボタン 52
③放送切換ボタン 76
④チャンネルボタン
または
数字、文字入力ボタン
53 76
⑤消音ボタン 85
⑥音量ボタン 76
⑦裏番組ボタン 78
⑧番組表ボタン 79
⑨メニューボタン 28
⑩カーソルボタン 28
⑪ Wooo リンクボタン 133
⑫カラーボタン
（青、赤、緑、黄）78
⑬一時停止ボタン 107
⑭サーチ / スローボタン 107
⑮録画ボタン 90
⑯ 10 秒バックボタン
録画モード / 残量ボタン
HDD/iVDR ボタン
90 107

⑰音声切換ボタン 86
⑱チャンネル番号入力
ボタン 76
⑲チャンネルアップ /
ダウンボタン 76
⑳入力切換ボタン 132
㉑見るボタン 102
㉒ネット (アクトビラ)
ボタン 139
㉓ⓓ連動データボタン 78
㉔戻るボタン 30
㉕決定ボタン 28
㉖停止ボタン 90
㉗再生ボタン 107
㉘スキップ / コマ送り
ボタン 107
㉙ワイド切換ボタン 82
㉚ 30 秒スキップボタン
番組検索ボタン
80 107

付属品について

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

お守りください

●電源コードは、必ず付属品をお使いください。
●付属品の電源コードは、本機以外の電気機器には使用しないでください。

もくじ

はじめに

テレビを設置する

外部機器を接続する

テレビを楽しむ

もくじ（つづき）

番組を録画・予約する

録画番組・写真などを楽しむ

接続した機器を楽しむ

インターネットサービスを楽しむ

AV ネットワークを楽しむ

お好みや使用状態に合わせて設定する

個別に設定したいとき

困ったときは

その他

使用上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について

	警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 人が死亡または重傷＊[1]を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、 人が傷害＊[2]を負う可能性が想定される内容および物的損害＊[3]のみの発生が想定される内容を示しています。

＊１：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要すものをさしています。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

図記号の例

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

 してはいけない。「禁止」を示します。

 必ず行う。「強制」を示します。

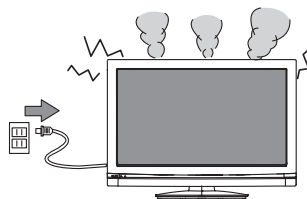
安全上のご注意

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

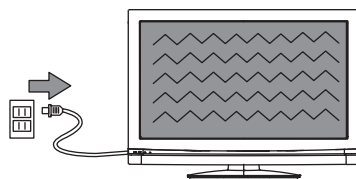
異常や故障のとき

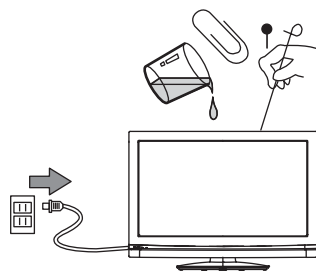
⚠警告

■煙が出ている、へんなにおいや音がするときは、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

異常のまま使用すると、
火災・感電の原因となります。
煙が出なくなることを確認して
販売店に修理をご依頼ください。

⚠注意

■画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると
火災・感電の原因となります。

■内部に水や異物などが入った場合は、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

■本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

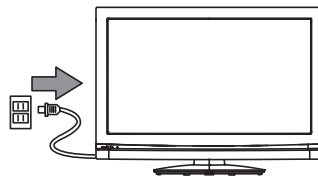
それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

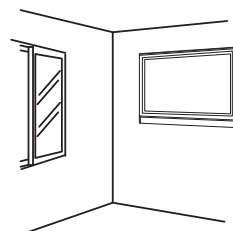
使用上のご注意

設置するとき

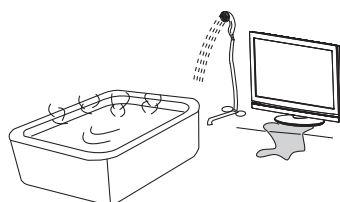
⚠警告

■電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、
電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、
火災・感電の原因となることがあります。
本機は電源が「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。

■壁に取り付ける場合は、必ず別売の専用の壁掛け金具を使用し、専門の業者に依頼する

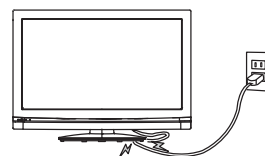
専門業者以外の人が壁掛け金具を使用して設置すると、
壁への取り付けがもろい場合に、本機が落下し、
打撲や骨折など大けがの原因となります。

■ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

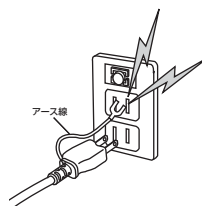
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

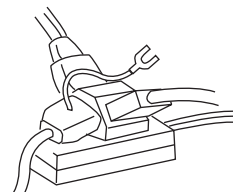
■風呂、シャワー室では使用しない

風呂場やシャワー室での使用禁止

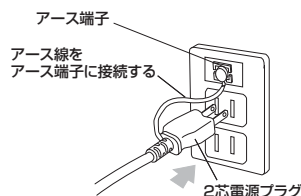
火災・感電の原因となります。

■電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない

コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物などで覆ってしまうと、
気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

■アース線を電源コンセントに差し込まない（プラズマテレビ）

アース線は、アース端子以外には接続しないでください。
火災・感電の原因となります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

- ●たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災・感電の原因となります。
- ●表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■アース線を必ず接地する（プラズマテレビ）
安全のために必ずアース接地して
ご使用ください。

アース線を
必ず接続せよ

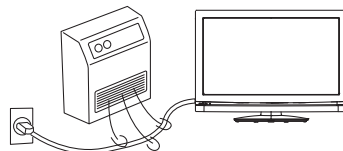
● 2 極コンセント（アースなし）の場合は、アース工事が必要となります。
アース工事は、販売店・電気工事店にご依頼ください。
● 2 芯電源プラグのアース線は、必ずアース端子に接続してください。
●アース接続は、必ず電源コードプラグをコンセントに接続する前に行ってください。
●アース接続を外す場合は、必ず電源コードプラグをコンセントから切り離してから行ってください。

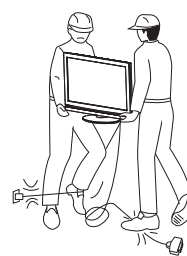
⚠注意

■湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど
油煙や湯気が当たるような場所やエアコンの下など、
水滴が落ちる場合のある場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

■電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、
火災・感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源を切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを
外してから行ってください。
●本機は質量が大きく奥行きが無くて不安定なため、
一人で作業をすると思わぬけがの原因になります。

■壁掛けなどスタンドを取り外して使用する際、外したネジは元のネジ穴に
戻さず、スタンドと共に保管してください。

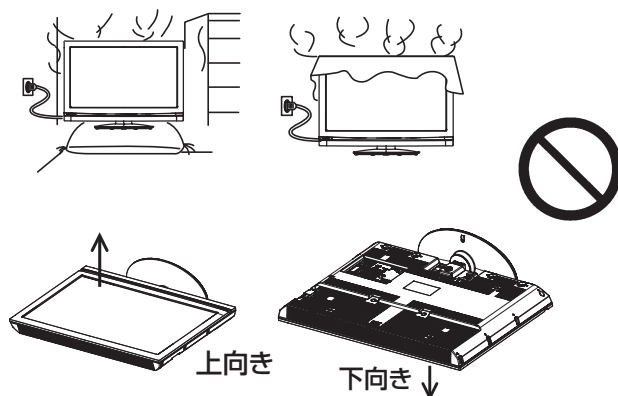
●壁掛けアタッチメントには専用のネジが用意されています。スタンド専用ネジは使用しないでください。
●その他、スタンド用ネジはスタンドを取り付けた状態で正常に機能する長さに設定されています。スタンド無しに装着すると、セットの変形などの原因となります。

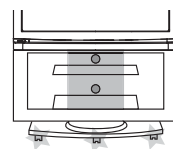
使用上のご注意

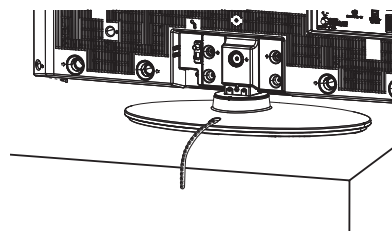
設置するとき（つづき）

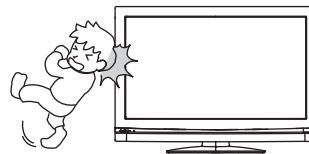
⚠注意

■本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。
また、本機の設置は、壁から左右 20cm 以上、
上部は 30cm 以上離す。
（壁掛け設置をする場合は除く）
特に次のような使い方はしない。故障の原因となります。
●本機を上向きや横倒し、下向きにする。
●押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
●じゅうたんや布団の上に置く。
●テーブルクロスなどを掛ける。

■キャスター付きテレビ台に本機を設置
する場合にはキャスター止めをする

動いて思わぬけがの原因となることがあります。

■転倒防止の処置を行なう

テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

■本機を頭や顔、手足などをぶつけるような場所に設置しない

けがの原因になることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●壁掛け・天吊り据え付け時には、
頭などをぶつけることのないように、
取り付けの高さにご注意ください。

■本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

●送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
● BS、CS 放送受信用アンテナは、強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付ける。

使用するとき

⚠警告

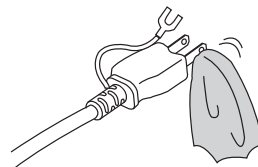
■本機の上に花びん、植木鉢、コップ、
化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない

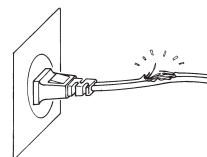
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

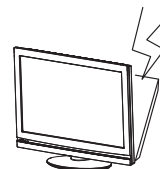
■電源プラグの刃および刃の付近にほこりや
金属物が付着している場合は、
電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く

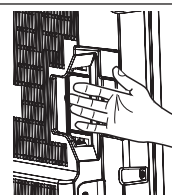
そのまま使用すると火災・感電の原因とります。
定期的（年に 1 回くらい）に清掃してください。

■電源コードを傷つけたり、加工したり、
無理に曲げたり、ねじったり、
引っ張ったり、加熱したりしない

コードが破損して、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や
電源プラグには触れない

感電の原因となります。

■本機の裏ぶた、前面枠、カバーは外さない、本機を改造しない

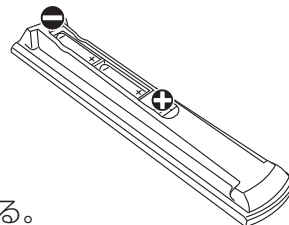
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

■ iVDR 挿入口のドア内に指などを入れない

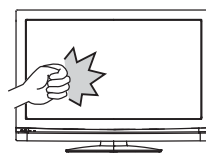
ドア内、ガイド部等には突起があり、突起に触れたり、
ドアに指を挟んだりすると、けがの原因となることがあります。

使用上のご注意

使用するとき（つづき）

⚠注意

■間違った電池の使い方をしない

●乾電池は充電しない。
●指定以外の電池は使用しない。
●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
●極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■前面パネルには、絶対に衝撃を加えない

本機の前面パネルをたたくなどして衝撃を加えるとパネルが割れ、
火災・けがの原因となります。

■電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したり、
ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

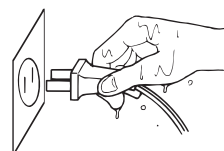
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

■電源プラグは根元まで差し込んでも ゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

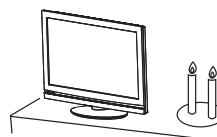
■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

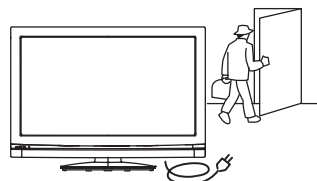
■機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■本機の上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、
けがの原因となることがあります。

■旅行などで長時間、
本機をご使用にならないときは、
安全のため必ず電源プラグを
コンセントから抜く

火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

お手入れするとき

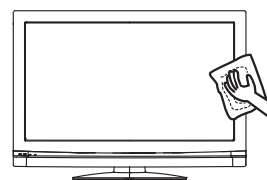
⚠注意

■お手入れの際は、安全のため電源プラグを
コンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

■前面枠やスタンドのお手入れには、
ネルなど柔らかい布をお使いください

前面枠やスタンドの光沢部分は、傷が付き易いので、
お手入れの際には、必ずネルなど柔らかい布をお使いください。
ほこりのついた布や硬い布で拭くと傷がつく恐れがあります。

■年に一度くらいは、内部の掃除を販売店などにご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

使用上のご注意

お守りください

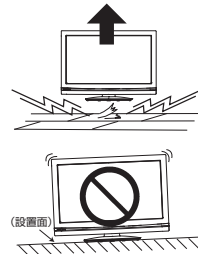
■高温になるところに置かないでください

前面枠、バックカバーやその他の部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

●直射日光や熱器具の近くなど。

■平坦で安定する場所に設置してください

●テレビをフローリングに直接床置きすることはさけてください。フローリングの材質・表面状態によっては床面とスタンドのスベリ止めが強く密着し、テレビを持ち上げた際、フローリングの表面がはがれる場合があります。

●故障の原因となるため、設置場所は十分な耐荷重強度のある、平坦で安定した場所を選んでください。（傾斜面や、カーペット·畳などの安定しない面、変形する面などに設置しないでください）

■パネルを押したり、物をぶつけたりしないでください

液晶パネル表面には保護ガラスがありません。指・手などで押したり物をぶつけると、液晶セル・ガラスが破損し、故障やけがの原因となります。

プラズマパネルは微細加工したガラスです。パネルの前面にはガラス製のフィルターを取り付けていますが、指・手などで押したり物をぶつけたりすると、ガラスが破損する恐れがありますので、強い衝撃は与えないでください。

■ SD メモリーカード挿入口に異物を挿入しないでください

SD メモリーカード（またはマルチメディアカード）以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■ B-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください

B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■パネルのお手入れは、柔らかい布で拭いてください

●本機のパネル表面は、特殊なフィルムやコーティングが施されています。お手入れの際には、柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。

●硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネル表面のフィルムや特殊コーティングが傷付きますのでご注意ください。

●指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

●ガラス用クリーナーやスプレー式のクリーナーは、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、内部に侵入し、故障の原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

●化学ぞうきんやアルコール、ベンジン、シンナー、酸性 / アルカリ性 / 研磨剤入り洗浄剤などは、その成分により、パネル表面が変質したり、フィルムや特殊コーティングがはがれたり、変色する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

■前面枠、バックカバーやスタンドのお手入れの際、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください

●前面枠やバックカバーの表面をベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。

●化学ぞうきんは、前面枠、バックカバーやスタンドが変質する原因となりますのでご使用にならないでください。

●前面枠や操作パネル部分の汚れは、ネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。

・酸·アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど

●前面枠とスタンドの光沢部分は、傷が目立ちやすいので、お手入れ、お取扱いには特にご注意願います。

■輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください

●引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

●横倒しでの輸送はしないでください。パネルが破損する、または面欠点が増加する可能性があります。

■本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、上部やパネル表面が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

■乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。

■テレビをご覧になるときは、適度な距離と明るさでご覧ください

●画面の縦の長さの３～７倍離れた場所でご覧になれば、見やすくて目が疲れにくくなります。
●暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。
●長時間連続して画面を見ていると目が疲れます。時々、画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量で隣り近所へ配慮してください

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■ iVDR 挿入口に異物を挿入しないでください

iVDR 以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■スピーカー部のお手入れは布を使用しないでください

スピーカー部には小さな穴が開いており、布で拭くとほこりがセットの中に入ってしまいます。お手入れの際は先端に柔らかなブラシのついた掃除機で軽く吸い取って下さい。

■焼き付きについて（プラズマテレビ）

静止画（画面表示、放送局から送られる時刻表示など）や、ゲーム機などの固定映像を長時間または繰り返し表示したり、画面のワイドモードをノーマルモードで長時間ご覧になると、プラズマパネルが焼き付く場合があります。画面の焼き付きを避けるため、スクリーンセーバーの使用やワイドモードはノーマル以外のモードで使用することをおすすめします。焼き付きが軽度のときは、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。プラズマパネルの焼き付きは保証対象外です。290

お知らせ

■画欠点について

パネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■残像について

静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）やメニュー表示を短時間（約 1 分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

■低温度環境での使用について (液晶テレビ）

液晶の特性により、周囲の温度が下がるにつれ液晶の応答速度が遅くなり、映像が残像として見えることがありますが、故障ではありません。常温環境下に戻し、しばらくすると回復します。

■パネル表面温度について

液晶テレビは、内蔵している蛍光ランプを点灯させることにより映像を表示しています。そのため、液晶パネルの表面温度が高くなる場合があります。
プラズマテレビは、パネル内部で放電を起こすことにより映像を表示しています。そのため、パネルの表面温度が高くなる場合があります。また、プラズマパネルは、微細加工したガラスです。パネルの前面にはガラス製のフィルターを取付けていますが、ガラスが破損する恐れがありますので強い衝撃は与えないでください。

使用上のご注意

お知らせ（つづき）

■パネル駆動音について

視聴中に、「ジー」というパネルの駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

■斜めから字幕などを見ると 2 重に見える（プラズマテレビ）

プラズマテレビは、パネル前側に発光部である前面フィルターと称するガラスが隙間を設け装着されています。本構造により、パネルで発光した字幕文字などの高輝度映像が前面フィルター内側で反射し、パネル表面に映り込んで 2 重に見える状態です。部品不具合や故障によるものではありません。

■天候不良によって、画質、音質が悪くなる場合があります

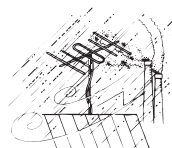
雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■ 110 度 CS デジタル放送をご覧になるには

110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHz またはそれ以上の周波数対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

■アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、本体の電源ボタンを 5 秒以上押してスタンバイ / 受像ランプが赤になってから再度電源ボタンを押してください。

■ラジオについて

本機の近くでラジオを使用しますと、ラジオの音声に雑音が入る場合があります。本機より離してご使用ください。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（470MHz ～ 2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

■電話回線の接続が必要です

デジタル放送では、電話回線を使って視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTT の 2 線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS) の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および 2 線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHS など）では利用できない場合があります。

■本機に記憶される個人情報などについて

- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力したお客様の個人情報が記録されます。また、インターネットを利用したネットワークサービス（Wooonet、アクトビラなど）をご利用の場合、各サービスが使用するお客様ごとの識別情報などが本機のメモリーに記録されます。本機を廃棄、譲渡する場合には「設定の初期化」を 231 実施して、本機内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

■インターネットへの接続が必要です

地上・BS デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。本機で、このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。インターネット網への接続をしていないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

■インターネット機能について

インターネットを利用してネットワークサービス（Wooonet、アクトビラ）を受けるには、ブロードバンド環境が必要です。ブロードバンド環境をお持ちでない場合は、インターネット回線事業者および接続業者（プロバイダー）との契約が必要です。

■本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、テレビの電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ）状態でも、自動的にデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。また、家庭内ネットワーク（DLNA）で楽しむ場合は、本機はホームサーバーとして動作しますので、電源オフ（スタンバイ）状態でも自動的に映像などを配信することができます。

■ダウンロードについて

放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、放送によるダウンロードサービスを行ないます。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、リモコンで電源を切った状態にしておくことをお勧めします。電源プラグを抜いた場合はこのサービスを受けられません。

■インターネットの接続状況について

インターネット接続のためにお客様がご利用になっている機器や、お客様がご契約になっているインターネット網への接続方法によっては、サービスが必要としている通信速度を得られず、十分なサービスを享受できない場合があります。また、各サイトのアクセスの状況や、回線の状況により通信速度が変化することもあります。

■インターネットのサイトやサービスについて

インターネットのサイトや、インターネットで提供される各種サービスは、ご自身で判断してお使いください。お客様が本機を使用してインターネットへのアクセスやインターネット上のサービスをご使用になられて発生した被害や損害についての補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■お客様の宅内のネットワーク機器との接続について

本機の DLNA 機能を使い、お客様の宅内ネットワーク機器と接続することができますが、本機の動作状況や能力、お客様の機器の動作状況や能力、ネットワークの状況により十分な視聴ができない場合があります。

■メモリーカードについて

本機に挿入されたメモリーカードに保存、記憶されているデータは、本機の操作を誤った場合や静電気などのノイズの影響を受けた場合、消失する恐れがあります。このような場合や万一何らかの不具合により、データが消失した場合の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。大切なデータは、他のメディアにバックアップを取っておくことをおすすめします。

使用上のご注意

■ライセンス等について

● 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。

本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™ NetFront®

● 日本語変換には、オムロンソフトウェア (株) のモバイル Wnn を使用しています。
● 「iVDR」と iVDR は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。
● SDHC ロゴは商標です。
● HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing、LLC の商標または登録商標です。
● 「AVCHD」と「AVCHD」ロゴは、松下電器産業株式会社とソニー株式会社の商標です。
● 「acTVila」、「アクトビラ」は、株式会社アクトビラの商標または、登録商標です。
● ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
● DLNA は、Digital Living Network Alliance の商標です。
● 本製品には「DiXiM® SDK」を使用して開発された AV ネットワーク機能を搭載しています。
DiXiM は、株式会社デジオンの登録商標です。
● この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
● この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

留意点

■付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS（ビーキャス）「(株)ビーエス･コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により録画ができなかった場合や、インターネットのサービスが受けられなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■あなたが iVDR に録画したものやインターネットのサービスで取得した映像や音声などのコンテンツは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより変更することがあります。

■ダウンロードとは、デジタル放送を受信してダウンロードデータを取り込み、本機のプログラムを最新のものに書き換える機能です。お買上げ時はダウンロードを「自動」で行なう設定になっています。「しない」設定にもできますが、最新のプログラムでお楽しみいただくため、通常は「自動」の設定でご使用ください。

重要 必ずお読みください

HDD/iVDR（ハードディスクドライブ）の取扱いについてのお願い

**本機に内蔵の HDD または別売の iVDR は非常に精密な機器です。
使用する環境や取扱いにより HDD/iVDR の動作および寿命に影響を与える場合がありますので、次の内容を必ずお守りください。
別売の iVDR 取扱説明書に記載されている注意表示も必ずお守りください。**

■設置時

- 後面や側面の通風孔をふさがないでください。
- 振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
- ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
- 「結露」(つゆつき) が発生しにくい場所に設置してください。「結露」は故障の原因になります。
  「結露」とは、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象です。急な温度変化が起きた場合や、寒い所から暖かい場所へ移動して設置する場合は「結露」が起こりやすくなります。そのような場合は、室温に約 2 ～ 3 時間なじませてから電源を入れてください。
- 温度や湿度が高くない場所、直射日光があたらない場所に設置してください。温度や湿度の高い場所に設置すると録画、再生不良が発生したり、故障の原因になります。
- 安定した動作を維持するため、長期間ご使用されない場合でも、一年に一回程度は通電していただくことをおすすめします。

■動作中

- 電源プラグを抜かないでください。
- 振動（スピーカーの音量過大による振動含む）や衝撃を与えたり、本機を移動させたりしないでください。
  移動するときには・・・① iVDR 取り出しボタンを押して、画面に「iVDR の取り出し可能です」のメッセージが表示されてから iVDR を取り出す。
  内蔵 HDD が動作している時は停止する。
  ②電源プラグをコンセントから抜く。
  ③ 2 分以上待ってから本機を動かす。
- iVDR アクセス（動作中）ランプ 69 が赤色で点灯中のときは、iVDR を抜かないでください。

お知らせ

- 本体前面の受像ランプが緑色に点灯している間、HDD/iVDR は高速で回転しています。起動時や回転中に発生する音や振動は故障ではありません。
- データ読み取りの状態により、再生画面にまれにノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。
- 振動や衝撃によって、HDD/iVDR が正常に動作しない場合があります。

■停電が発生した場合

- 記録中や再生中に停電等で電源が供給されなくなった場合、HDD/iVDR の録画内容が損なわれる可能性があります。

■故障時のお願い

- 再生画面が一時停止したり乱れが頻繁に発生する場合は、HDD/iVDR の故障が考えられます。このような場合は HDD/iVDR の交換が必要です。
- HDD/iVDR を交換する場合、HDD/iVDR の録画内容を新しい HDD/iVDR に移すことはできません。
- iVDR の故障時は、iVDR の保証書をご覧いただき、保証書に記載のお問い合せ先にお問い合せください。

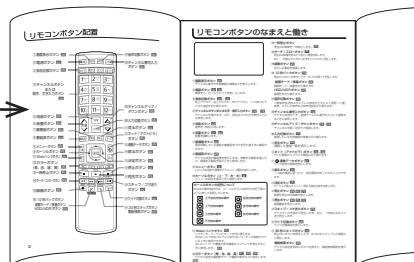
■大切な映像を保存するために

- 故障の場合、HDD/iVDR の録画内容が損なわれることがあります。大切な映像を録画する際は、HDD/DVD レコーダーなどによる録画を併用されることをおすすめします。

万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合の内容 (データ) の補償や損失、直接･間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

リモコンボタンのなまえと働き

表紙の折り返し部分の「リモコン配置」と合わせてご覧ください。

表紙折り返し部分

①画面表示ボタン 85
チャンネル番号や外部機器の情報などを表示します。

②電源ボタン 52
電源を入 / 切（スタンバイ状態）にします。

③放送切換ボタン 76
地上アナログ、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送を切り換えます。

④チャンネルボタンまたは文字・数字入力ボタン 53 , 76
チャンネルを選びます。また、設定などの文字や数字入力にも使用します。

⑤消音ボタン 85
音声を一時的に消します。

⑥音量ボタン 76
音量を調節します。

⑦裏番組ボタン 78
現在視聴している番組の裏番組を CH を切り換えずに確認できます。

⑧番組表ボタン 79
デジタル放送の番組表を表示します。視聴する番組を選んだり、録画する番組を選ぶときに使用します。

⑨メニューボタン 28
いろいろな設定や調節を行うメニュー画面を表示します。

⑩カーソルボタン（上・下・左・右）28
メニューの項目を選ぶときに使用します。

カーソルボタンの記号について

本文中の操作説明では、カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

上下左右方向の操作
左右方向の操作
上下方向の操作
左方向の操作
上方向の操作
右方向の操作
下方向の操作

⑪ Wooo リンクボタン 133
シアターモード / テレビモードを切り換えます。
Wooo リンク対応 AV アンプまたはレコーダーが接続されているときに使用できます。
AV ネットワーク機能のある機器のコンテンツを再生するときに使用します。 163

⑫カラーボタン（青、赤、緑、黄）78
デジタル放送の番組表やデータ番組の操作などに使用します。

⑬一時停止ボタン
再生中の映像を一時停止します。 107

⑭サーチ / スローボタン 107
再生中の映像を見ながら見たい場面を探します。
また、一時停止中にボタンを押すことでスロー再生します。

⑮録画ボタン 90
見ている番組を録画します。

⑯ 10 秒バックボタン 107
再生中にボタンを押すことで、約 10 秒戻って再生します。

録画モード / 残量ボタン 90
録画モード、残量を切り換えます。

HDD/iVDR ボタン 90
録画先を切り換えます。

⑰音声切換ボタン 86
二重音声放送およびステレオ放送のときに2ヶ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を切り換えます。

⑱チャンネル番号入力ボタン 76
デジタル放送のとき、直接チャンネル番号を入力して選局するときに使用します。

⑲チャンネルアップ / ダウンボタン 76
チャンネルを順 / 逆送りで選局します。

⑳入力切換ボタン 132
接続している外部機器の映像に切り換えます。

㉑見るボタン 102
録画した番組、ダウンロードコンテンツ、写真などを一覧画面 (見る一覧) で表示します。

㉒ネット（アクトビラ）ボタン 139
テレビ画面からブラウザ画面に切り換えます。

㉓ d 連動データボタン 78
データ放送の画面を表示します。

㉔戻るボタン 30
1 つ前の画面に戻ったり、設定画面を終了させることができます。

㉕決定ボタン 28
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

㉖停止ボタン 90
録画や再生中の映像を停止します。

㉗再生ボタン 107
録画番組を再生します。

㉘スキップ / コマ送りボタン 107
チャプターの先頭から再生します。また、一時停止中はコマ送り再生します。

㉙ワイド切換ボタン 82
ワイド切換画面を表示します。

㉚ 30 秒スキップボタン 107
再生中にボタンを押すことで、約 30 秒スキップした場面から再生します。

番組検索ボタン 80
デジタル放送受信時にボタンを押すと、番組検索画面を表示します。

本体各部のなまえ

液晶テレビ

前面

側面

iVDR 取出しボタン 69

iVDR アクセス（動作中）ランプ 69

SD メモリーカード挿入口 70

ビデオ 3 入力端子 62

HDMI3 入力端子 60

ヘッドホン（ミニ）端子

別売のミニプラグのヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンの音量を設定することができます。 182

B-CAS カード挿入口 43

本体各部のなまえ

液晶テレビ

後面

59 ビデオ 1/ コンポーネント 1 入力

63 ビデオ 2/ コンポーネント 2 入力

44 回線モジュラージャック

59 ビデオ 4 入力

60 HDMI 1 入力

44 ネットワーク (LAN) 端子

60 HDMI 2 入力

電話回線接続

LAN (10/100)

BS/CS-IF入力

BS/CSコンバーター電源 + −
DC15V/最大4W

ビデオ1/コンポーネント1入力

ビデオ2/コンポーネント2入力

D4映像

D4映像

ビデオ4入力

デジタル放送/録画番組 出力

映像

左－音声－右

モノ

入力

出力

HDMI

HDMI1入力

HDMI2入力

アナログ音声を接続する際は、ビデオ1入力端子を使用してください。

UHF/VHF 75 Ω

IR コントローラー

光デジタル音声出力

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

40 UHF/VHF 入力

67 IR コントローラー

59 デジタル放送 / 録画番組出力

42 BS/CS-IF 入力

65 光デジタル音声出力

プラズマテレビ

前面

側面

iVDR 取出しボタン 69

iVDR アクセス（動作中）ランプ 69

SD メモリーカード挿入口 70

ビデオ 3 入力端子 62

HDMI3 入力端子 60

ヘッドホン（ミニ）端子

別売のミニプラグのヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンの音量を設定することができます。 182

B-CAS カード挿入口 43

［動作中］ランプ点灯中は iVDRを抜かないでください。故障の原因となります。

iVDR取出し　動作中

SDカード 引ｰ取出し

S2 映像

映像

左/モノ

音声

右

ビデオ3入力

HDMI3入力 アナログ音声

HDMI3 入力

ヘッドホン

［B-CAS］表示面をテレビの後方に向けて矢印の方向に挿入してください。

B-CAS

電源

電源ボタン 88

チャンネル

チャンネル ▼ / ▲ボタン 88

音量

音量 ▼ / ▲ボタン 88

入力切換

入力切換ボタン 88

本体各部のなまえ

プラズマテレビ

後面

P42-HP03 のとき

通信端末用アース端子 44

電源ノイズに対して通信の安定性を向上させるなどのために、市販のアース線を使って、本機のアース端子と接地端子を接続することをおすすめします。
（本アース端子は、電話通信端末機器の技術基準に基づくものです。）

電源コードコネクタ 50

59 ビデオ 1/ コンポーネント 1 入力

63 ビデオ 2/ コンポーネント 2 入力

59 ビデオ 4 入力

44 回線モジュラージャック

44 ネットワーク (LAN) 端子

60 HDMI 1 入力

60 HDMI 2 入力

電話回線接続
LAN (10/100)
BS/CS-IF 入力
BSCSコンバーター電源 DC15V/最大4W
ビデオ1/コンポーネント1入力
D4映像
D4映像
ビデオ2/コンポーネント2 入力
ビデオ4入力
デジタル放送録画番組 出力
映像
左
音声
右
モノ
入力
出力
HDMI1入力
HDMI2入力

アナログ音声を接続する際は、ビデオ1入力端子を使用してください。

HDMI

UHF/VHF 75Ω
IR コントローラー
光デジタル音声出力

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

40 UHF/VHF 入力

67 IR コントローラー

59 デジタル放送 / 録画番組出力

42 BS/CS-IF 入力

65 光デジタル音声出力

後面

**P42-XP03/XP035
P46-XP03/XP035
P50-XP03/XP035 のとき**

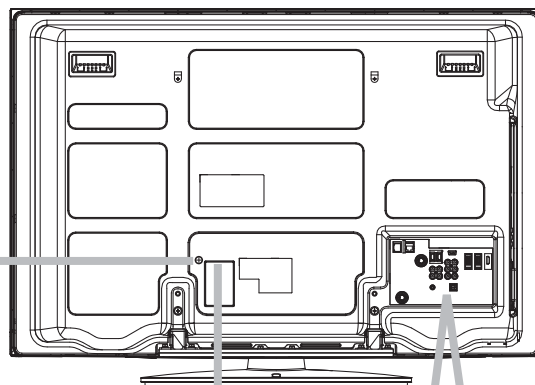
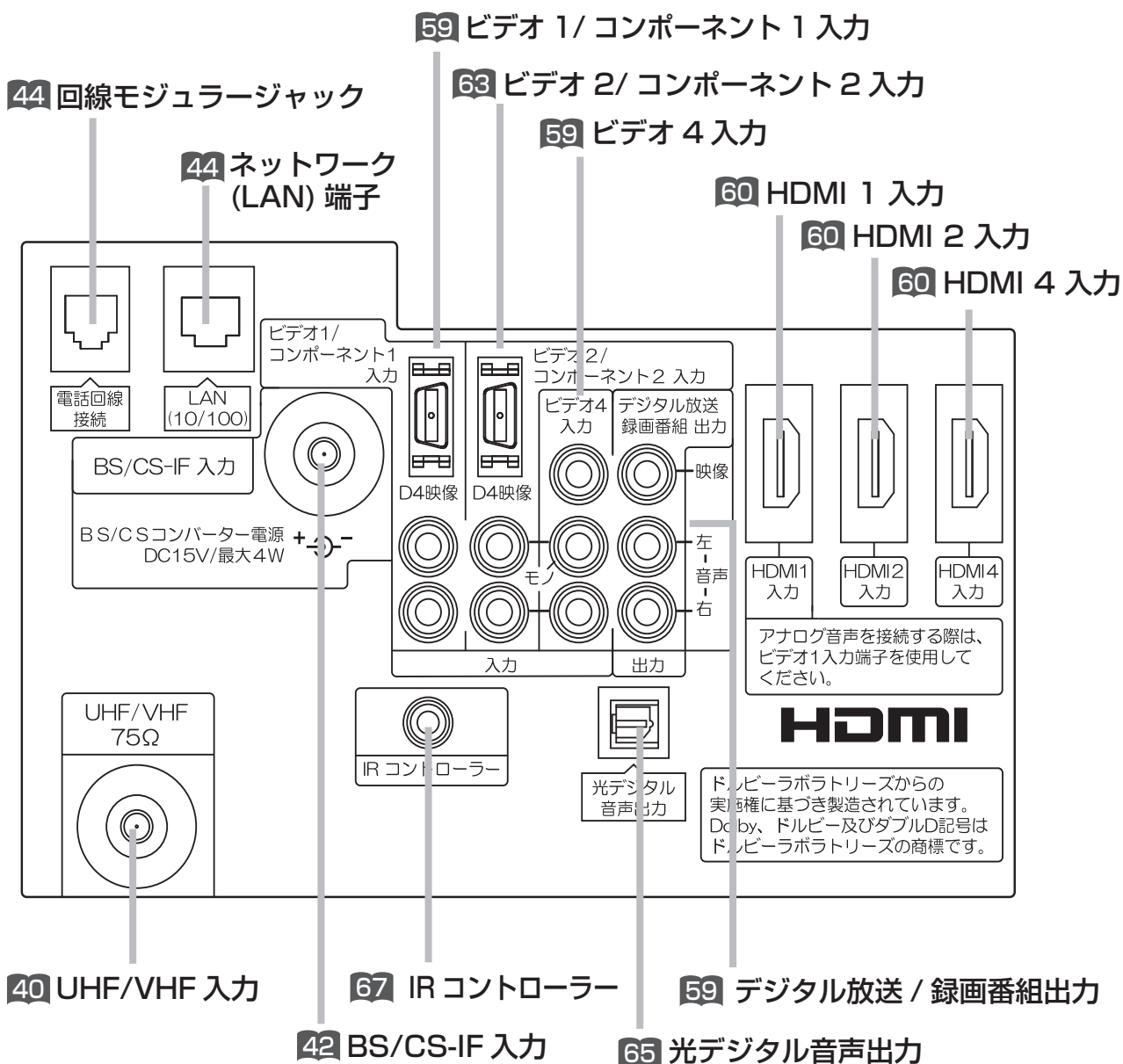
通信端末用アース端子 44

電源ノイズに対して通信の安定性を向上させるなどのために、市販のアース線を使って、本機のアース端子と接地端子を接続することをおすすめします。
（本アース端子は、電話通信端末機器の技術基準に基づくものです。）

電源コードコネクタ 50

59 ビデオ 1/ コンポーネント 1 入力
63 ビデオ 2/ コンポーネント 2 入力
59 ビデオ 4 入力
44 回線モジュラージャック
44 ネットワーク (LAN) 端子
60 HDMI 1 入力
60 HDMI 2 入力
60 HDMI 4 入力

電話回線接続
LAN (10/100)
BS/CS-IF 入力
BSCSコンバーター電源 DC15V/最大4W
ビデオ1/コンポーネント1 入力
ビデオ2/コンポーネント2 入力
D4映像
D4映像
ビデオ4 入力
デジタル放送 録画番組 出力
映像
左 ー 音声 ー 右
モノ
入力
出力
HDMI1 入力
HDMI2 入力
HDMI4 入力
アナログ音声を接続する際は、ビデオ1入力端子を使用してください。
HDMI
UHF/VHF 75Ω
IR コントローラー
光デジタル音声出力
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

40 UHF/VHF 入力
67 IR コントローラー
59 デジタル放送 / 録画番組出力
42 BS/CS-IF 入力
65 光デジタル音声出力

メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使ってほとんどの機能の設定ができます。

1 メニュー(字幕)を押す

メニュー画面が現れます。

2 で項目を選び、決定を押す

録画番組一覧画面時(フォルダを選択している場合)

削除ロック 121
録画した番組を削除できないようにします。

ダビング 114
HDD に録画されている番組をスロット側 iVDR にダビングできます。

プレイリスト / 録画番組 104
プレイリストまたは録画番組画面に切り換えることができます。
プレイリスト画面になっているときは、「録画番組」と表示されます。

フォルダ名変更 124
フォルダ名の変更をします。

フォルダ追加 125
新しいフォルダを追加します。

フォルダ削除 125
フォルダの削除を行います。

録画番組一覧画面時
(録画番組を選択している場合)

削除ロック 121
録画した番組を削除できないようにします。

ダビング 114
HDD に録画されている番組をスロット側 iVDR にダビングできます。

プレイリスト / 録画番組 104
プレイリストまたは録画番組画面に切り換えることができます。
プレイリスト画面になっているときは、「録画番組」と表示されます。

タイトル順表示 / 時間順表示 102
録画番組の表示順を変更することができます。
現在タイトル順表示になっている場合は「時間順表示」と表示されます。

サムネイル設定 108
録画した番組のシーンを選びサムネイルを更新することができます。

タイトル名変更 112
録画した番組のタイトルを編集することができます。

チャプター設定 110
チャプターポイントを設定することができます。

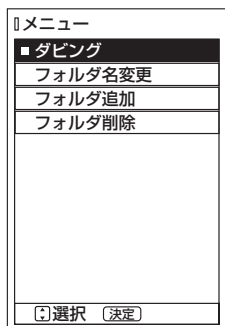
分割 108
録画した番組をお好みの場所で 2 つに分割することができます。

フォルダ間移動 123
フォルダ内に登録されている録画番組を別のフォルダへ移動します。

一括削除 122
削除ロック対象以外の全ての録画番組を一度に削除したり、複数選択して削除することができます。

予約設定 102
録画番組と同じ時間帯の毎週予約ができます。

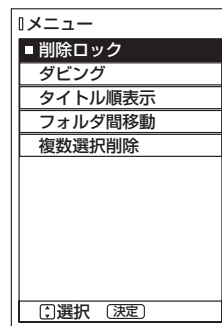
2

写真・ビデオ一覧画面時
（フォルダを選択している場合）

ダビング 120
SD メモリーカードに記録した写真 (静止画像) を HDD に取り込むことができます。

フォルダ名変更 124
HDD に保存した写真 (静止画像) のフォルダ名の変更をします。

フォルダ追加 125
HDD に保存した写真 (静止画像) の新しいフォルダを追加します。

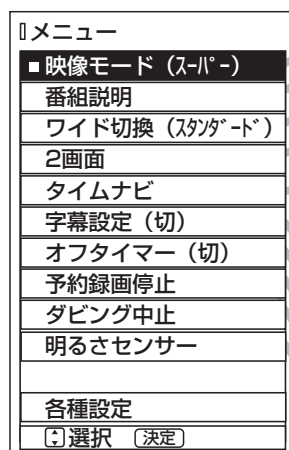
フォルダ削除 125
HDD に保存した写真 (静止画像) のフォルダの削除を行います。

写真・ビデオ一覧画面時
（写真を選択している場合）

削除ロック 121
HDD に保存した写真 (静止画像) を削除できないようにします。

ダビング 120
SD メモリーカードに記録した写真 (静止画像) を HDD に取り込むことができます。

タイトル順表示 / 時間順表示 102
写真 (静止画像) の表示順を変更することができます。
現在タイトル順表示になっている場合は「時間順表示」と表示されます。

フォルダ間移動 123
HDD のフォルダ内に登録されている写真 (静止画像) を別のフォルダへ移動します。

複数選択削除 122
HDD に保存した写真（静止画像) を複数選択して削除することができます。

録画番組一覧画面時
（録画先（iVDR) を選択している場合）

iVDR 名称編集 126
iVDR ディスクのタイトルを編集することができます。

再生時

● でグレー色文字の項目を選んだときは、設定を切換えたり、決定で操作することはできません。

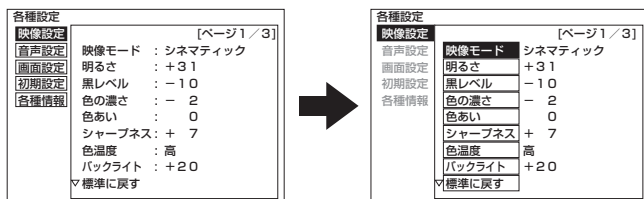
次ページへつづく

メニュー機能の使いかた（つづき）

2 「各種設定」について

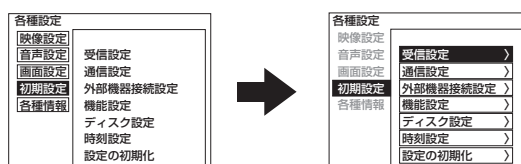
「各種設定」を選ぶと「映像」や「音声」、受信設定などの設定画面を表示することができます。

明るさなどの映像を調節したいときは

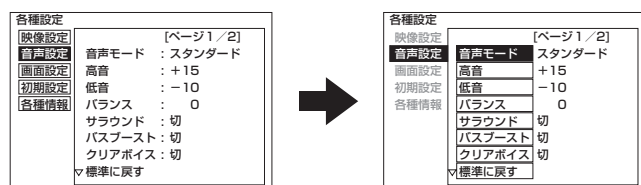
[▲▼]で「映像設定」を選び、[▷]／[決定]を押す

※バックライト機能は、液晶テレビのみ

179 など

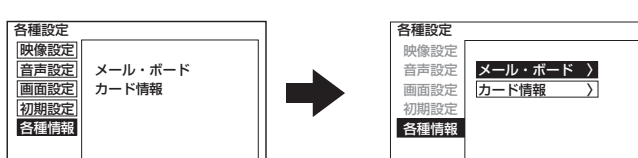
受信設定などの設定をしたいときは

[▲▼]で「初期設定」を選び、[▷]／[決定]を押す

200 など

高音などの音声を調節したいときは

[▲▼]で「音声設定」を選び、[▷]／[決定]を押す

182 など

メールなどを確認したいときは

[▲▼]で「各種情報」を選び、[▷]／[決定]を押す

87

ワイド切換などを設定したいときは

[▲▼]で「画面設定」を選び、[▷]／[決定]を押す

184 など

- 「▽」の表示があるときは、[▼]を押すと、次のページが表示されます。
- 「△」の表示があるときは、[▲]を押すと前のページが表示されます。
- [▲▼]でグレー色文字の項目を選んだときは、設定を切換えたり、[決定]で操作することはできません。

3 設定が終了したら[メニュー字幕]を押して、メニューを消す

メ　モ　リモコンの[戻る]について

メニューの設定画面のとき、[戻る]を押すと前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

テレビを設置する

設置と準備の進めかた

重要 本機の設置やアンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。（設置・準備費用については、お買上げの販売店にご相談ください。）

ご自分で設置と準備をされるときは、下記の順番で作業してください。

1 付属品を確認します 4

2 テレビにスタンドを取り付けます 34

3 本機を据え付けます 36

4 リモコンに電池を入れます 39

5 アンテナ線と本機を接続します 40 42

6 B-CAS カードを入れます (重要) 43

7 電話回線、LAN インターフェースを接続します 44 45

8 お手持ちの機器を接続します 58

- ビデオ、DVD レコーダーなどの録画機器 59
- HDMI 出力対応の DVD レコーダーなど 60
- Wooo リンク対応機器 61
- ビデオカメラ 62
- DVD プレーヤー 63
- ゲーム機 64
- 光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器 65
- CATV ホームターミナル 66
- IR コントローラー（別売り）67

9 電源プラグをつなぎます 50

10 電源を入れます 52

11 かんたんセットアップで受信設定をします 53

メニューからの受信設定も可能です。 200

12 電話回線、ISP(プロバイダー)、LAN を設定します 221 225 227

13 接続した外部機器を設定します 71

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル放送を受信するには、下記の要件がすべて整っていることが必要です。

1. 受信地点は、すでに放送地域になっていますか？

2006 年 12 月から全国の都道府県庁所在地において地上デジタル放送が見られるようになりました。その後、その受信可能エリアは順次拡大される予定です。地上デジタル放送の受信エリアのめやすは、総務省またはお近くの地方総合通信局にお問い合わせください。

2. UHF アンテナは、地上デジタル放送に対応していますか？

UHF アンテナには全帯域型と帯域専用型がありますので、全帯域型または地上デジタル放送対応型をご使用ください。

3. UHF アンテナは、地上デジタル放送の送信塔の方向に向いていますか？

現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が地上アナログ放送と同じ方向の場合は、そのままの向きで地上デジタル放送を受信できますが，送信塔の方向が違う場合は、アンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更する必要があります。

4. 地上デジタル放送受信機の入力信号は、所定の信号強度がありますか？

地上デジタル放送は、現在のアナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さな出力で放送されますので、受信エリアが限定されます。また、受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

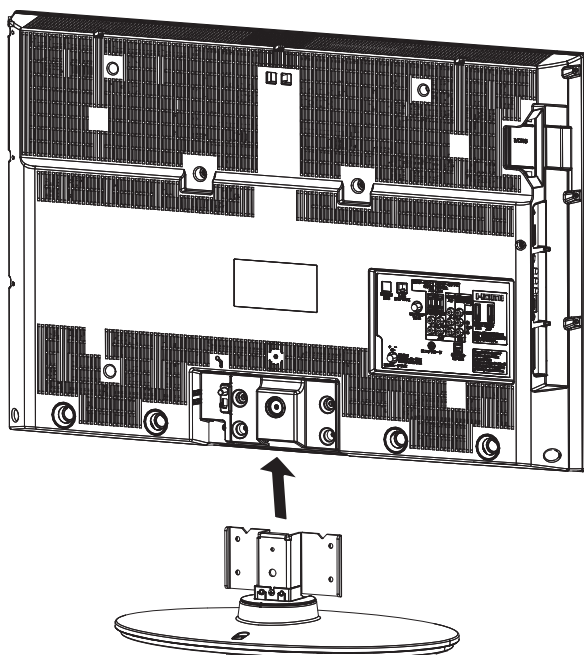
●ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でご視聴の方は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

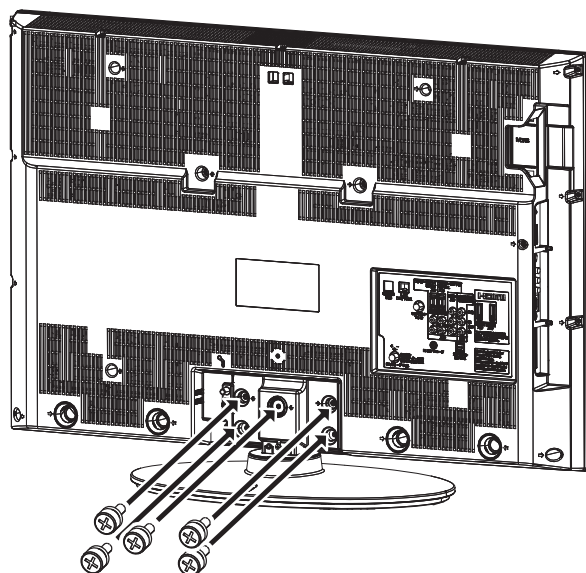
●地上デジタル放送を受信するためには、最初に「地域名」の設定と「初期スキャン」の操作が必要です。212

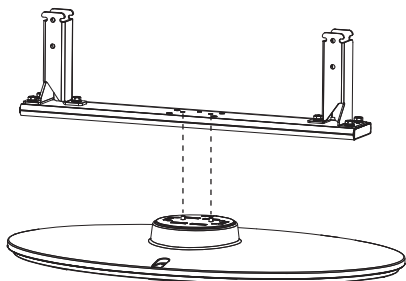
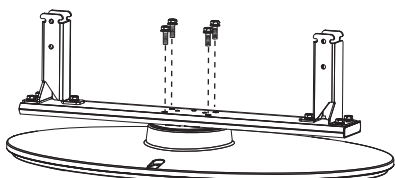
テレビにスタンドを取り付ける

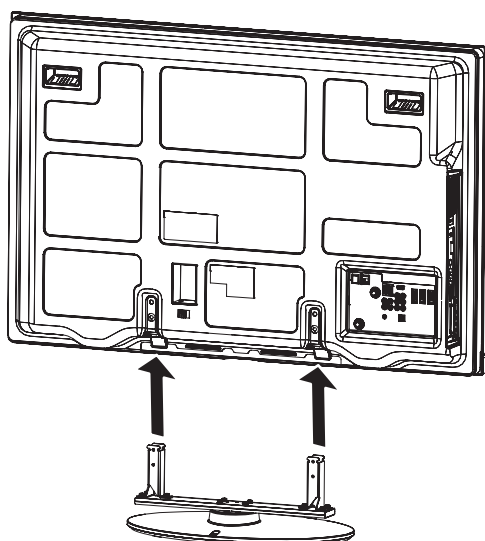
液晶テレビ

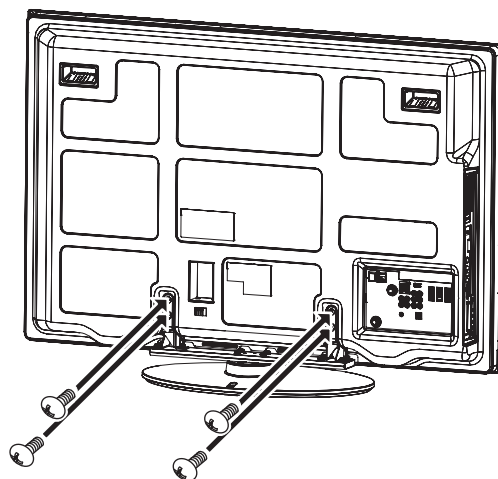
1 テレビにスタンドの先端を差し込む

⚠注意
テレビ部は、重いので必ず２人以上で作業してください。

2 付属のスタンド取付用ネジ（5 × 16）で固定する

⚠注意
スタンド取付用ネジは、先に全てのネジを仮止めした後、最後にしっかりと締め付けてください。

プラズマテレビ

1 スタンドにスタンドサポートを取り付ける

2 スタンドとスタンドサポートを付属のサーポート取付ネジ（6 × 25）4 本で固定する

3 テレビにスタンドの先端を差し込む

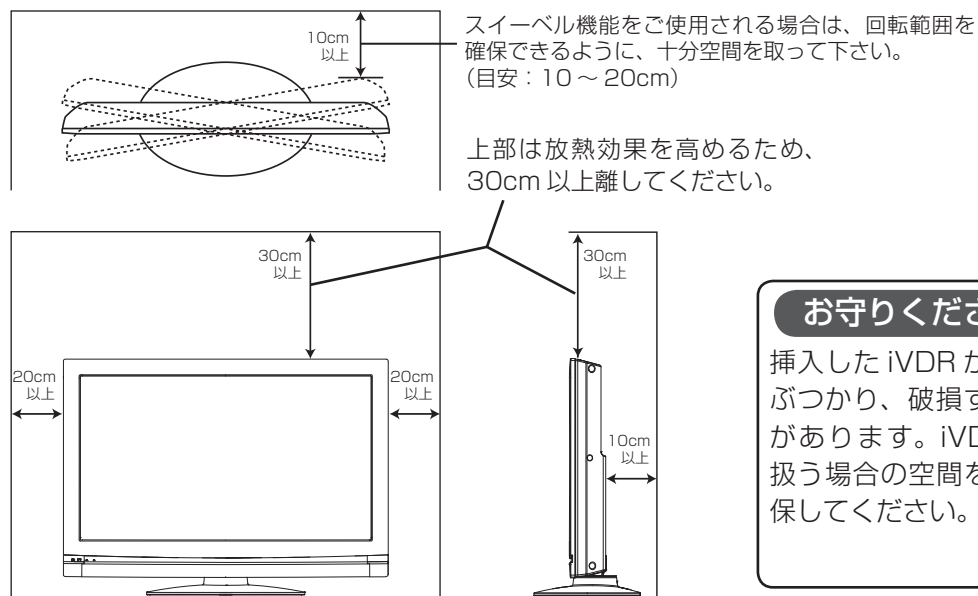
> ⚠注意
> テレビ部は、重いので必ず 2 人以上で作業してください。

4 付属のスタンド取付用ネジ（6 × 12）4 本で固定する

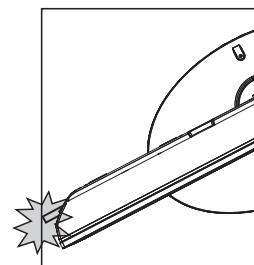
> ⚠注意
> スタンド取付用ネジは、先に全てのネジを仮止めした後、最後にしっかりと締め付けてください。

据え付けについて

据え付けるときのご注意

① 本機の周囲は放熱のための空間を十分に確保してください。
② 密閉したケースや棚などに設置したり、通風孔をふさいだりすると内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
③ 強い衝撃や振動が加わらない場所に設置してください。内蔵 HDD や iVDR に衝撃や振動が加わると、録画再生不良が発生しやすくなります。

スイーベル機能をご使用される場合は、回転範囲を確保できるように、十分空間を取って下さい。
（目安：10 ～ 20cm）

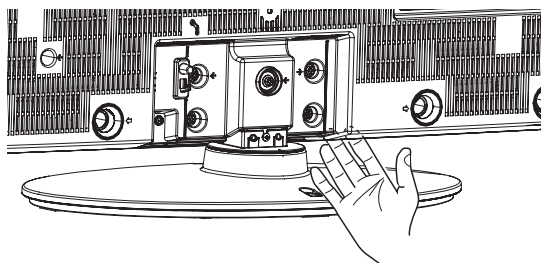
上部は放熱効果を高めるため、30cm 以上離してください。

お守りください

挿入した iVDR が壁などにぶつかり、破損するおそれがあります。iVDR を取り扱う場合の空間を十分に確保してください。

⚠注意

本機の据え付けには、性能および安全性を維持するために必ず付属スタンドや専用のオプションユニットをご使用ください。付属スタンドを使用せずに、別の取り付け強度が不足する部材を使用すると、転倒したり落下して火災・感電・けがの原因となります。

⚠注意

通風孔をふさがないように据え付けてください。
通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

据え付けるとき

⚠注意

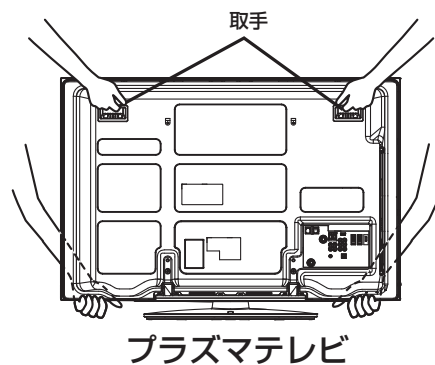
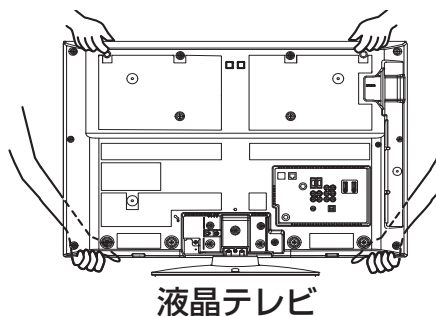
据え付けるときやスタンドをスイーベルさせるときにスタンド回転部の近いところに手や指を入れないでください。手や指が挟まれてけがの原因となることがあります。

壁掛け・天吊り設置の場合

⚠注意

別売の専用壁掛ユニットを使用して壁に取り付ける場合は、危険ですから個人での取り付けは避け、販売店にお問い合わせの上、指定の取り付け工事業者に依頼してください。

移動するとき

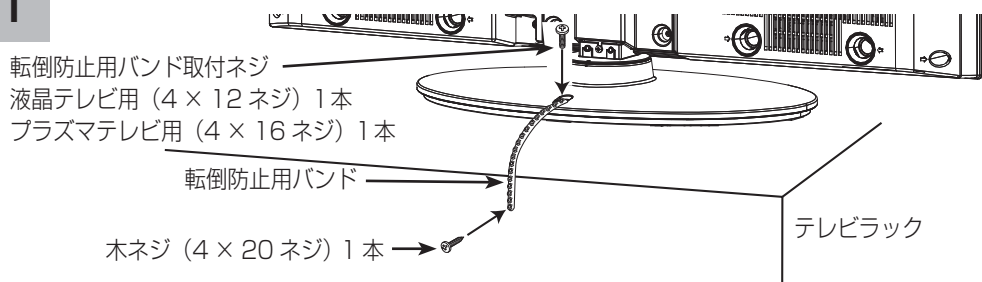
●移動するときは、二人作業で持ち運びしてください。

液晶テレビ

プラズマテレビ

転倒防止について

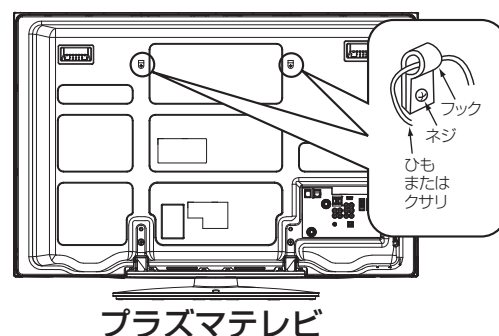
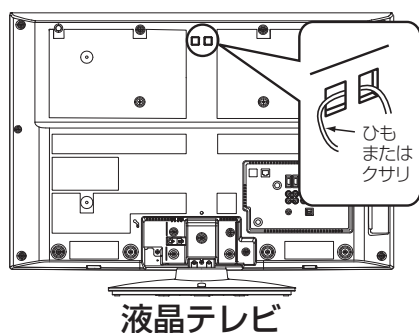
地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害軽減するために、転倒防止対策を行ってください。

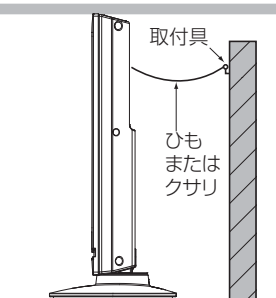
テレビラックなどにテレビを固定するとき

1　転倒防止バンドをスタンドに取り付け、付属の木ネジ（4 x 20）を取り付けて固定する

壁や柱などに固定するとき

1　図のようにセット後面上部の穴 (液晶テレビ)、フック (プラズマテレビ) にひもまたはクサリを通す

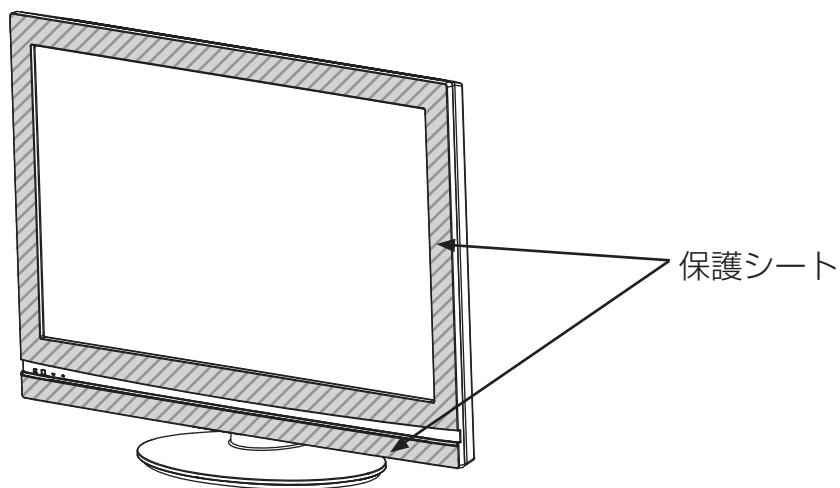
液晶テレビ

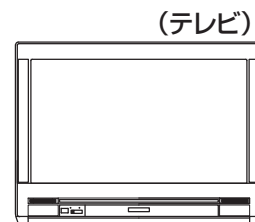
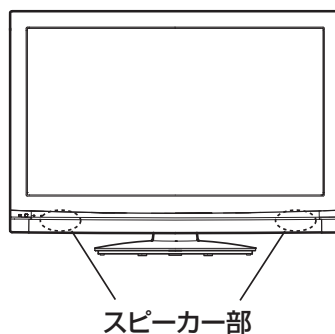
プラズマテレビ

2　確実に支持できる壁や柱などに、しっかりと固定する

●ひもまたはクサリ、取付具は市販品をご利用ください。
●スイーベル動作させたときに、回転の支障にならない程度のひも（クサリ）の長さに調節してください。

⚠注意
転倒・落下防止器具を取り付けるテレビラックや壁の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策はけがなどの危害の軽減を意図したものですが、全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。

据え付けについて

保護シートについて

●本機は工場出荷時、下図の斜線部分に保護シートが貼ってありますので、設置後に取り外してお使いください。
●スタンドの保護シートは、中央部より手で破るなどして取り外してください。

お守りください

●ブラウン管タイプのテレビをスピーカー部に近づけると、ブラウン管テレビに色むらや画面揺れが発生することがありますので離して使用してください。

リモコンを準備する

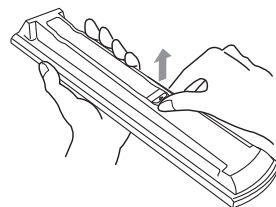
⚠注意

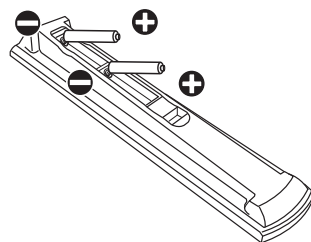
乾電池の使用上のご注意

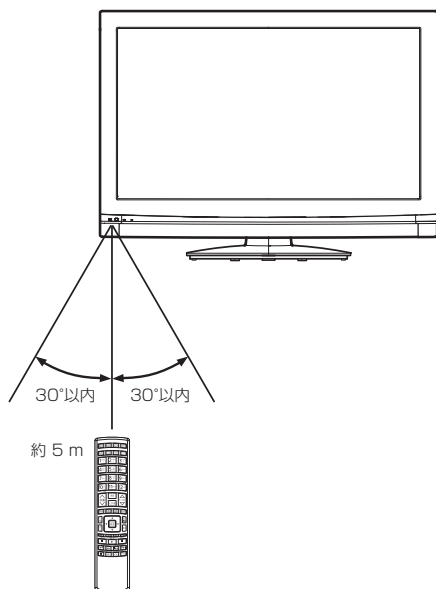
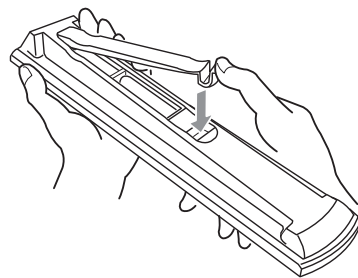
●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示通り正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

1 電池ぶたをはずす

矢印の方向に押しながら開けます。

2 乾電池を入れる

付属の単４形乾電池を⊕、⊖の表示通りに入れます。

3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。

●リモコンは、本体のリモコン受信窓に向けて操作します。

●リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約５メートル、左 30 度、右 30 度の範囲内でお使いください。

お守りください　リモコンの使用上のご注意

●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。

●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。

●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

●リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。単４アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。）
乾電池を入れる前に、乾布などで電池端子部をきれいにふいてください。端子部が汚れていると、接触不良のために正常に動作しないことがあります。

●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。

●電子レンジなどの加熱料理器に、リモコン送信機・乾電池を入れて加熱しないでください。発熱により火災・故障の原因になります。

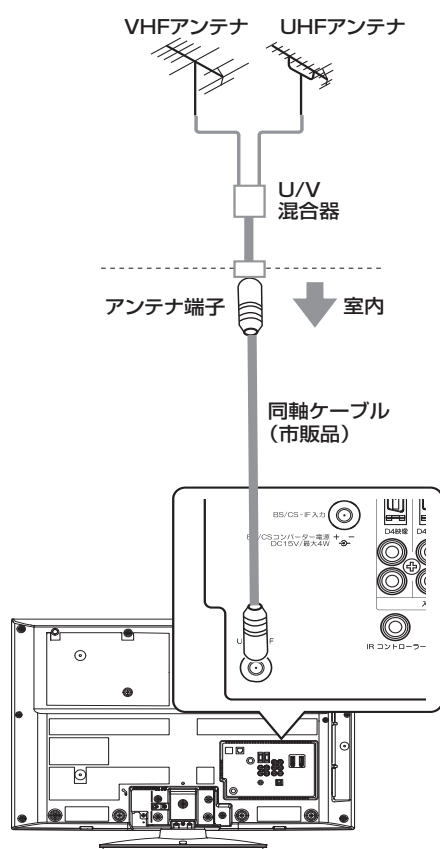
●ふた無しで使用すると、金属物などで乾電池がショートし発熱、液もれ、破裂などさせるおそれがありますので、必ずふたを閉めてご使用ください。

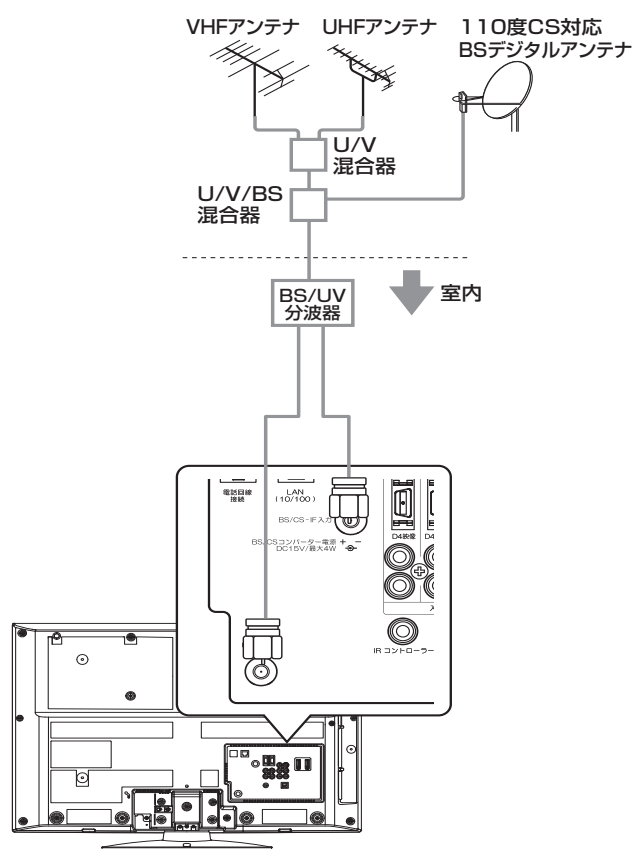
アンテナと接続する

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

①アンテナの種類に応じ、下図の要領で UHF/VHF 混合アンテナ端子に接続してください。
②地上デジタル放送を受信するときは、UHF アンテナを使用します。VHF アンテナでは受信できません。また、現在お使いのアンテナが UHF アンテナでも、調節や取り替えが必要な場合もありますので、その際は、販売店にご相談ください。
③本機の UHF/VHF 混合アンテナ端子への接続に市販の U/V 混合器やアンテナアダプターを使用する場合は、できるだけ本機より離して接続してください。
④ UHF/VHF アンテナが独立のときなど、混合器の取り付けが必要な場合は、販売店にご相談ください。
⑤ CATV ケーブルと接続するときは、伝送方式や接続について詳しくは CATV 会社にお問い合わせください。

UHF/VHF アンテナの接続

UHF/VHF アンテナが混合のとき

① 同軸ケーブル（市販品）を本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続する。
② 同軸ケーブル（市販品）の反対側をお部屋のアンテナ端子と接続する。

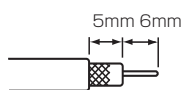
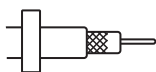
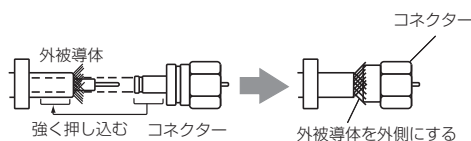
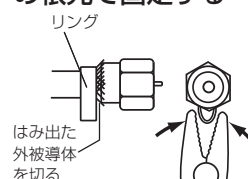
BS・CS が混合のとき（例：UHF/VHF/BS 混合入力）

① BS/UV 分波器の UV 出力を本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続する。
② BS/UV 分波器の BS 出力を本機の BS/CS-IF アンテナ入力端子に接続する。（42もご覧ください。）

お守りください

アンテナ線接続時のご注意

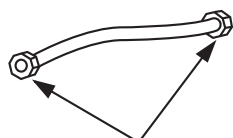
●アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
（平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、画面にしま模様が現れたりします。）
●やむを得ず平行フィーダーを使用する場合は、本機よりできるだけ離してください。
●室内アンテナ線も妨害電波を受けやすいので、お避けください。
●アンテナに対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

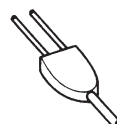
F 形接栓（市販品）の接続

1 先端を加工する

2 リングを通す

3 コネクター先端部を外被導体内側に差し込み、強く押し込む

4 ペンチなどを使い、リングをコネクターの根元で固定する

きれいな映像を楽しむために

きれいな映像をお楽しみいただくには、アンテナ線や各種ケーブル類の接続状態が非常に大切です。

●アンテナ線は同軸ケーブルに F 形接栓を接続して使用することをおすすめします。

同軸ケーブル（市販品）

F 形接栓（市販品）

● BS/UV 分波器・分配器はシールドタイプの使用をおすすめします。

プラスチックタイプ（市販品）　**金属シールドタイプ（市販品）**

CATV ケーブルと接続するときの地上デジタル放送受信について

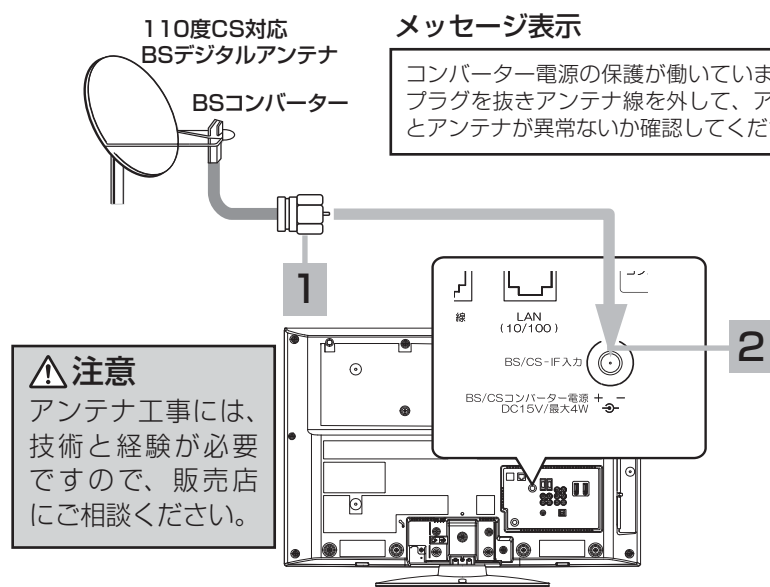
CATV には、以下のような地上デジタル放送の伝送方式があります。詳しくは、CATV 会社にお問い合わせください。

伝送方式	本機の対応
トランスモジュレーション方式	UHF 帯の地上デジタル放送をケーブルテレビ局の電波に変換して伝送します。本機のアンテナ端子に接続しても地上デジタル放送を受信できません。CATV のホームターミナルと接続してください。（66をご覧ください。）
同一周波数パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を変換しないでそのまま伝送します。本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。
周波数変換パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を CATV で伝送可能な別の周波数に変換して伝送します。本機の UHF/VHF アンテナ端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。

アンテナと接続する

BS/CS アンテナの接続

接続するときには安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。下記メッセージが表示される場合は、テレビの電源を切ってから 110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナを確認し、もう一度電源を入れてください。現象がなおらない場合は、コンバーター電源を「切」に設定 219 して、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

1 BS/CS アンテナ線の同軸ケーブルを F 形接栓（市販品）に接続する 41

UHF、VHF、BS が混合されているときには、BS/UV 分波器 (市販品) が必要です。41

2 F 形接栓を BS/CS-IF 入力端子に接続する

BS/CS-IF 入力端子は、BS コンバーターからの信号を受けるための端子です。また、この端子から BS コンバーターに DC ＋ 15V を供給します。BS アンテナ線を接続するときには必ずテレビの電源を切ってください。

お守りください

- 共聴受信等で視聴される（電源供給を必要としない）場合には、「受信設定（BS・CS)」219 をご覧になって、コンバーター電源の設定を必ず「切」にしてご使用ください。
- アンテナを接続するときは、安全のため、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- BS/CS-IF 入力端子に F 形接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけすぎると本機内部が破損する場合があります。

アンテナ線の接続についてのご注意

衛星放送を分配して他の機器で (衛星放送を) 視聴する場合、分配器は必ず多端子タイプの電流通過形をご使用ください。多端子タイプ電流通過形でない場合は、アンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器で衛星放送が受信できなくなります。

お知らせ

- アナログ CS 用アンテナや従来のスカイパーフェク TV ！用アンテナ（JCSAT-3、JCSAT-4 受信用）はご使用になれません。110 度 CS デジタル放送を受信する場合は、110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナをご使用ください。
- ブースターや分配器をご使用になる場合は、110 度 CS 対応（周波数 2,150MHz 対応以上）であることをご確認の上、ご使用ください。従来の BS 用で周波数帯域が 1,335MHz のものや、CS 対応でも対応周波数が 1,895MHz などの 2,150MHz 未満のものをご使用になった場合、110 度 CS デジタル放送の一部もしくはすべてのチャンネルが受信できない場合があります。
- マンションなどの共同受信システムの場合で、110 度 CS デジタル放送に対応していない場合は、110 度 CS デジタル放送を受信できません。
- BS アンテナを使用する場合は、BS デジタル放送のみの受信が可能です。この場合、従来の BS アンテナのほとんどは使用できますが、一部の BS アンテナでは性能の劣化や BS デジタル放送受信に必要な性能が確保されず、BS デジタル放送を受信したとき、安定した受信ができないことがあります。このようなときは、BS アンテナ製造元のお客様窓口や、BS アンテナを購入した販売店などにお問い合わせください。

メ　モ

BS/CS アンテナ線の接続についてのお願い

- F 形接栓（市販品）をご使用ください。
- アンテナの方向調整、設置についてはアンテナの取扱説明書をご覧いただくか、お買い上げの販売店にご相談ください。

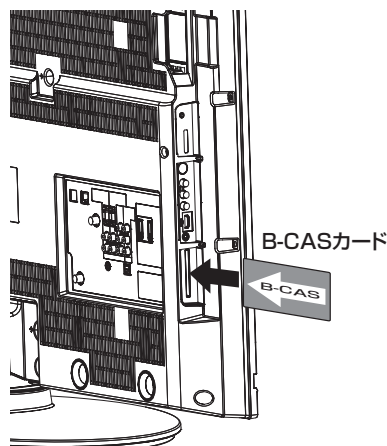
映りがよくないときには

衛星放送の電波は微弱なため、受信するにはアンテナ方向の正確な調整が必要です。もし、時々映像や音声が出なくなったりするときは販売店にご相談ください。また、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声が止まったり、ひどい場合にはまったく受信できないことがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。受信レベルについては 217 をご覧ください。

B-CAS カードを挿入する (重要)

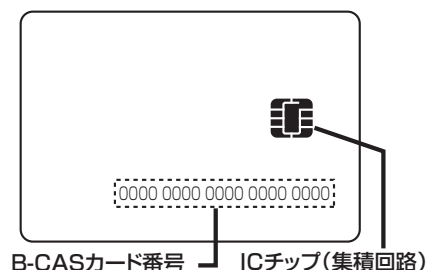
本機に付属の B-CAS カードは、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順に従って挿入してください。

1 B-CAS カードを挿入する

図のように、B-CAS カード表面の矢印の向きを挿入口へ合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込みます。

メ　モ

B-CAS カード番号 (カード ID) は、カードを挿入したままでも本機で確認することができます。
操作方法は、「インフォメーションの確認」87 をご覧ください。

B-CAS カードについて

本機に付属の B-CAS カードには 1 枚ごとに違う番号（B-CAS カード番号）が付与されています。B-CAS カード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。「（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となります。
本機に付属の B-CAS カードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項をご記入・押印してポストに投かんし、B-CAS カードを必ず登録してください。（登録料は無料です。）
B-CAS カードの登録方法については、265 をご覧ください。

お守りください

B-CAS カード取り扱い上の留意点

- B-CAS カードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CAS カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CAS カードの IC チップ（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CAS カードの分解加工は行わないでください。
- B-CAS カードは上記手順をご覧のうえ、本機の B-CAS カード挿入口に、奥まで正しく挿入してください。B-CAS カードを正しく挿入しないと、有料放送や一部のデータ放送を視聴することができません。
- ご使用中に B-CAS カードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

B-CAS カードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくり B-CAS カードを抜いてください。
B-CAS カードには IC チップ（集積回路）が組み込まれているため、画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

お知らせ

- 本機専用の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うと B-CAS カードは機能しません。
- WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、B-CAS カードの登録のほかに個別の受信契約が必要になります。詳しくはそれぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

電話回線と接続する

本機は、モジュラージャック式のジャックから電話回線に直接接続できるようになっています。
ご使用の電話回線コンセントがモジュラージャック式でない場合は、変換アダプターまたは工事が必要です。

重要 ホームテレホンやビジネスホンをご使用の場合は、販売店か NTT 営業所、または支店にご相談ください。

電話回線コンセントの種類をご確認ください

電話回線コンセントはこんな形？

モジュラージャック式

いいえ

はい

3ピンプラグ式

3ピンプラグ
変換アダプター

市販の3ピンプラグ変換アダプターをお買い求めのうえ接続してください。

ローゼット式

有資格者による工事が必要です。
お近くのNTT営業所、または支店にご相談ください。

モジュラージャック式

モジュラーケーブル（市販品）で、直接接続します。電話機またはファクシミリが設置されているときは、モジュラー分配器（市販品）をご使用ください。

電話回線接続

LAN（10/100）

ビデオ1/コンポーネント1入力

BS/CS-IF入力

BS/CSコンバーター電源 DC15V/最大4W

D4映像

または

モジュラー分配器（市販品）

モジュラーケーブル（市販品）

ADSL 回線を使用される場合の接続例

アースとの接地

電源ノイズに対して通信の安定性を向上させるなどのため、市販のアース線を使って、本機のアース端子と接地端子 26 27 を接続することをおすすめします。（本アース端子は、電話通信端末機器の技術基準にもとづくものです。）

お守りください

アース接続についてのご注意

本機をアース接続する場合は、確実に行なってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

お知らせ

- ISDN 回線でご使用になる場合は、ターミナルアダプターの取扱説明書をよくご覧になってください。ターミナルアダプターの種類によっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。ADSL でご使用になる場合も、うまく通信できないことがあります。
- ADSL 回線で本機を利用する場合、本機はスプリッターの電話回線側に接続してください。正しく接続しないと、正常に通信ができません。
- ケーブル電話などでは、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ケーブル電話会社にお問い合わせください。
- ６極４芯タイプの電話機の中で、NTT 仕様に準拠していない機器は、ご使用になれません。
- コードをはずすときは、プラグを持ち、ツメを押しながら抜いてください。また、プラグを差し込むときは、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- 公衆電話、共同電話、地域集団電話、自動車電話、携帯電話、PHS、船舶電話には接続できません。
- 本機の「回線使用中」ランプが点灯している場合は、電話機をご使用にならないでください。本機からの通信が正しくできないことがあります。
- キャッチホン契約されている場合は、本機が通信していても、キャッチホンが優先されます。
- ファクシミリが接続されている場合は、ファクシミリの送受信中に本機が通信を行うと、ファクシミリのデータが正しく送受信できない場合があります。
- モジュラー分配器を使用して、電話機などを接続している場合、本機が通信するとき電話機から呼出音がなる場合があります。このような場合には、市販の自動転換器をご使用になることをおすすめします。

LAN インターフェースと接続する

本機では、インターネット接続サービスやデジタル放送の新しい双方向サービスに対応するため、インターネット網に常時接続環境で接続する LAN インターフェースを装備しています。

インターネット環境の準備

インターネットに接続するには、ブロードバンド環境が必要です。
以下の流れを参考に、インターネットへの接続環境を準備してください。

プロバイダーとの契約

本機でインターネットサービスを楽しむためには、まず回線業者やインターネット接続サービスを行う接続業者"インターネットサービスプロバイダー（ISP）"との契約が必要です。これまでインターネットをお使いになるための契約を行っていない場合は、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとインターネットに接続するための契約を行ってください。
契約によって、本機をインターネット網に常時接続するための各種設定情報を入手することができます。

インターネット網との接続

ADSL 接続環境、CATV 接続環境、光ファイバー（FTTH）接続環境と、ご利用の環境に応じて、46 のように、インターネット網と本機を接続してください。アクトビラなどで映像コンテンツを再生する場合は、光ファイバー（FTTH）接続が必要です。接続に使用する機器は、回線業者やインターネットサービスプロバイダーに指定された製品を使い、指定された各種設定情報をパソコンまたは本機で設定してください。
使用するブロードバンドルーターによっては、パソコンによる設定が必要となる場合もあります。このような機器を使用する場合は、パソコンを接続して設定を行ってください。

ブロードバンドモデム、ブロードバンドルーターの設定

ADSL モデムやケーブルモデムなどのブロードバンドモデム、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）の設定については、接続する環境や使用するモデム、ルーターごとに異なります。回線業者やインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。
なお、インターネットからの不正アクセスなどを防止するために、本機のインターネット接続にはルーターをご使用になることを推奨します。

ルーターへの接続設定

ご利用のルーターと本機を接続するために、本機に IP アドレスの設定が必要な場合には、225 のように設定します。お買い上げ時における本機の IP アドレス設定は、ルーターから自動的に DHCP で取得するモードに設定されていますので、ご利用のルーターが DHCP を用いて接続可能な場合には、この設定は不要です。

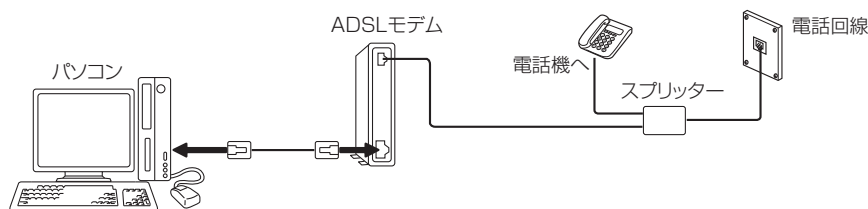
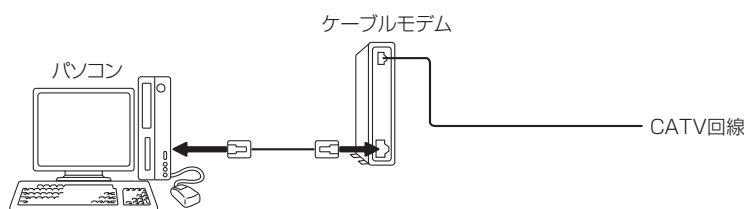
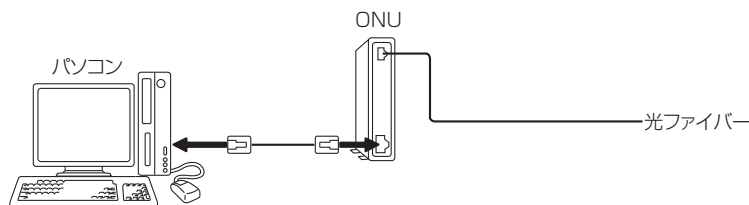
通信テスト

インターネットサービスを快適に利用していただくために、あらかじめ通信テストを行ってください。正しく接続・設定されているか、インターネットに接続できるかを確認します。（通信テストについて 228）

LAN インターフェースと接続する（つづき）

既存接続環境の確認

すでに常時接続環境をお使いの場合、次の図のように ADSL モデムやケーブルモデム、ONU に 1 台のパソコンを直接接続されている場合は、ブロードバンドルーターなどの機器を追加したり、設定を変更したりする必要があります。

ADSL モデムにパソコンを直接つないでいる

ケーブルモデムにパソコンを直接つないでいる

ONU にパソコンを直接つないでいる

これらの環境でパソコンのインターネット接続をしている場合は、本機を接続するために以下の点にご注意ください。

●モデムや ONU がルーター機能を持っていない場合

パソコン 1 台だけが接続できる環境になっています。本機を接続するためには､別途市販のブロードバンドルーターを追加する必要があります。また、プロバイダーが PPP（PPPoE）で接続するタイプの場合、プロバイダーから提供される情報をブロードバンドルーターに設定する必要があります。接続例の｢ADSL 接続の場合（1）｣､｢CATV 接続の場合（1）｣、「FTTH の場合（1）」をご覧ください。

●モデムや ONU がルーター機能を持っているがルーター機能を使わない設定になっている場合

パソコン 1 台だけが接続できる環境になっています。本機を接続するためには、ルーター機能を使う設定にする必要があります。プロバイダーが PPP（PPPoE）で接続するタイプの場合､プロバイダーから提供される情報をルーターに設定する必要があります。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

●モデムや ONU がルーター機能を持っていて機能しているが、LAN インターフェースがパソコンに占有されている場合

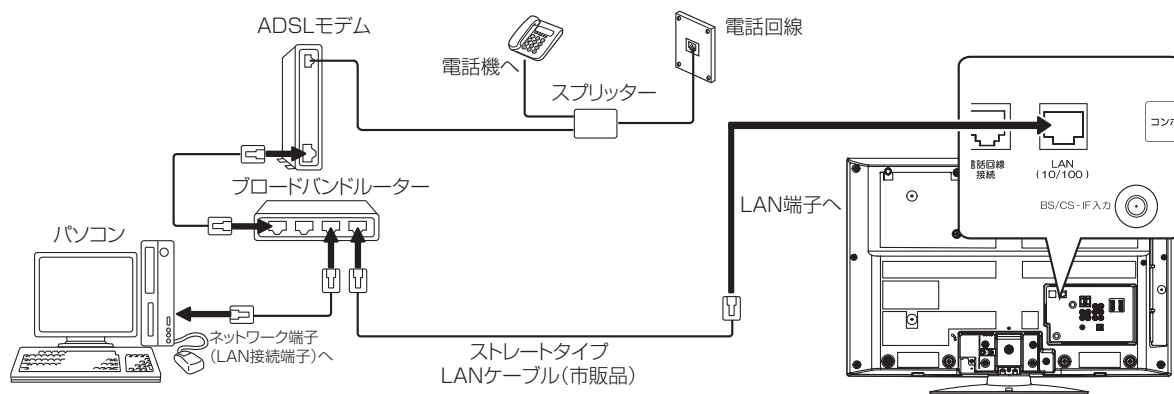
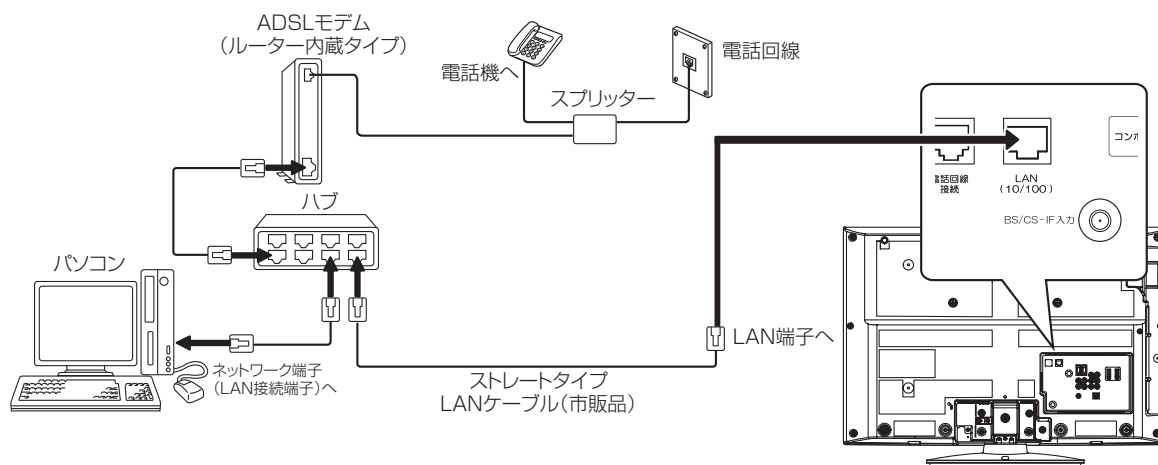
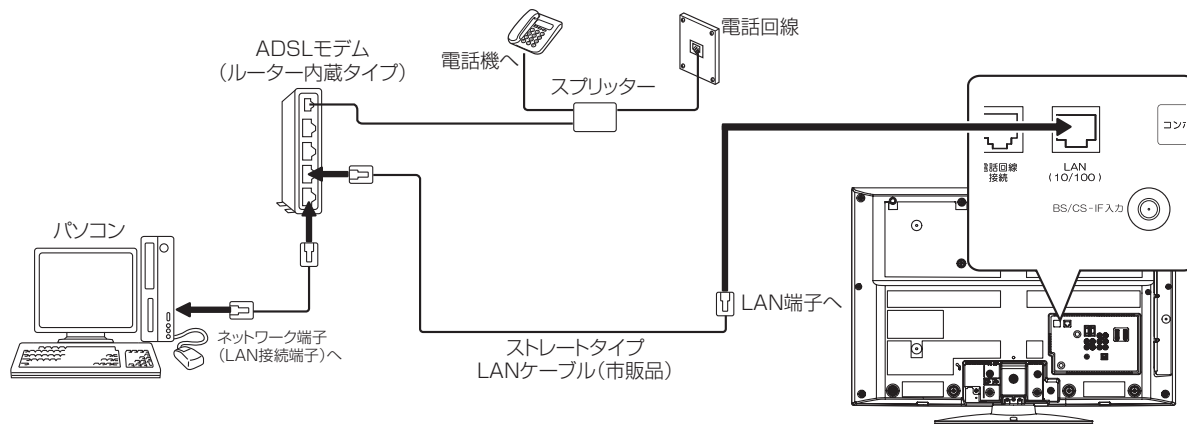
本機を接続するために、別途市販のハブを追加する必要があります。
接続例の「ADSL 接続の場合（2）」､「CATV 接続の場合（2）」をご覧ください。

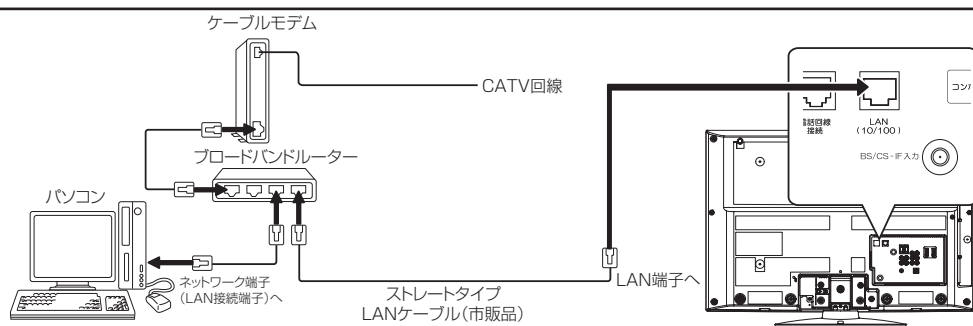
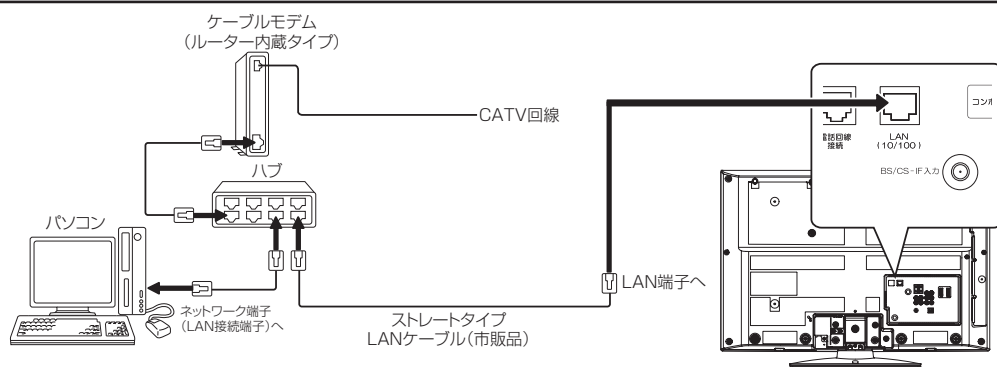
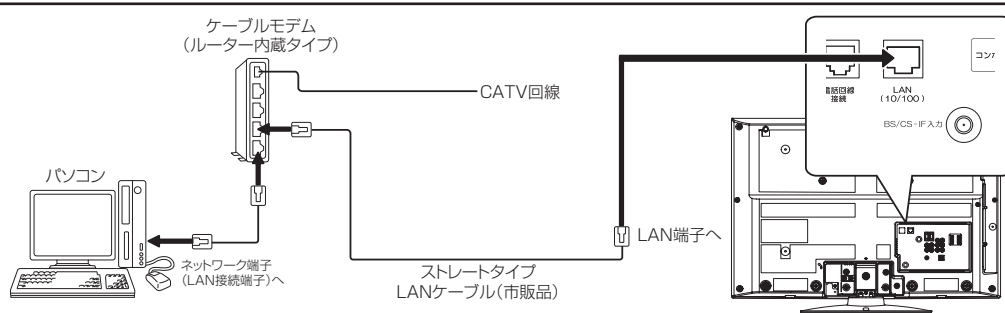
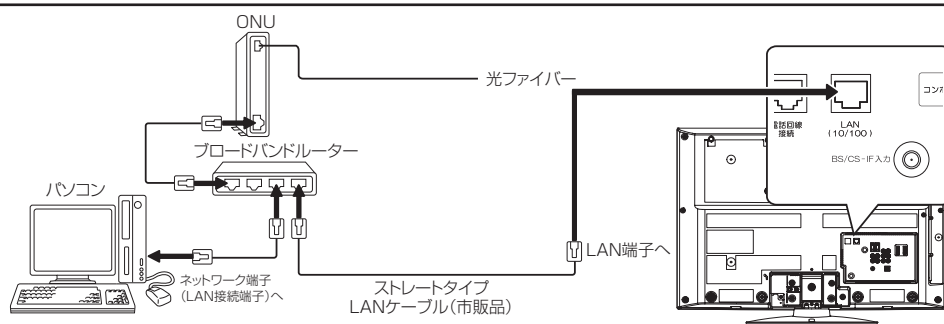
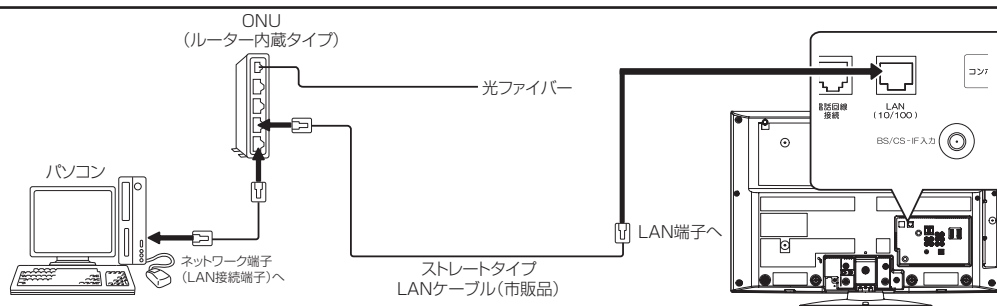
お知らせ

プロバイダーや回線業者によっては契約の内容によって接続できる機器の台数を制限している場合があります。ご契約内容やブロードバンドルーターなどのネットワーク機器の追加については、お使いのプロバイダーや回線業者にご確認ください。また、ご自身でブロードバンドルーターやハブを追加される場合は、それぞれの機器の販売店等にご相談ください。

接続例

ご利用の環境に応じ、以下の例を参考にして本機の LAN インターフェースを接続してください。
なお、以下の図ではパソコンを含んだ接続を例として記載していますが、本機でアクトビラなどサービスを受けるためのインターネット接続や、ご家庭内での AV ネットワーク機能のご利用にあたり、パソコンは必須ではありません。

ADSL の場合（1）：ADSL モデム（ルーター非内蔵タイプ）との接続

ADSL の場合（2）：ADSL モデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがない場合）

ADSL の場合（3）：ADSL モデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがある場合）

LAN インターフェースと接続する（つづき）

CATV の場合（1）：ケーブルモデム（ルーター非内蔵タイプ）との接続

CATV の場合（2）：ケーブルモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがない場合）

CATV の場合（3）：ケーブルモデム（ルーター内蔵タイプ）との接続（LAN 接続端子に空きがある場合）

FTTH の場合（1）：ONU またはメディアコンバーター（ルーター非内蔵タイプ）との接続

FTTH の場合（2）：ONU またはメディアコンバーター（ルーター内蔵タイプ）との接続

お守りください

●電話用のモジュラーケーブルは、LAN 端子の接続には使用できません。無理に挿入すると故障の原因となります。

お知らせ

● ADSL モデムやケーブルモデムとブロードバンドルーターやハブの接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
●双方向データサービスをご利用になるときは、電話回線の接続 44 も行なってください。
地上・BS デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。
●本機のブラウザはプロキシーサーバーに対応していますが、動画コンテンツサービスの多くはプロキシーに対応していません。そのようなサービスでプロキシーをご利用になると正常に視聴できない場合があります。
●本機でインターネット網に接続するには、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。未契約の場合は、回線業者やプロバイダーと契約してください。
●回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
●本機のインターネット接続は、アナログモデムおよび ISDN によるダイヤルアップ接続には対応しておりません。
●本機は、10BASE-T/100BASE-TX 規格に準拠した LAN インターフェースを装備しておりますので、この規格に準拠した LAN ケーブルを使用してください。
● ADSL モデムやスプリッター、ケーブルモデム、ブロードバンドルーター、ハブ、ケーブルなどは、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約をご確認の上、指定された製品を使って、接続や設定を行ってください。
● ADSL モデムやケーブルモデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 回線業者や CATV 事業者またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
●ブロードバンドルーターに固定 IP で接続する場合は、ISP 設定について 225 で「IP アドレス取得」を「手動」に選択し、必要な項目を設定してください。
●ブロードバンドルーターによっては、パソコンによる設定が必要な場合があります。このようなルーターを使用する場合は、パソコンを接続して設定を行ってください。
●本機では、アナログモデムによるインターネット接続を前提とするデータ放送サービスはご利用できません。

メ　モ

ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Line) について

従来の電話用メタリックケーブル上で実現される高速デジタル伝送方式の一つです。すでに一般家庭に広く普及している電話線を使って、インターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する技術であり、現在、インターネット常時接続の主流となりつつあります。

FTTH(Fiber To The Home) について

光ファイバーを家庭まで直接引き込み、超高速・広帯域の通信環境を提供するサービスのことです。2001 年から NTT 東日本・西日本が光ファイバーによる常時接続サービスの B フレッツを開始しています。CATV や ADSL を超える高速通信が可能です。

ONU(Optical Network Unit) とメディアコンバーターについて

光ファイバー加入者通信網における、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するための装置で、加入者宅に設置されます。

電源プラグを接続する

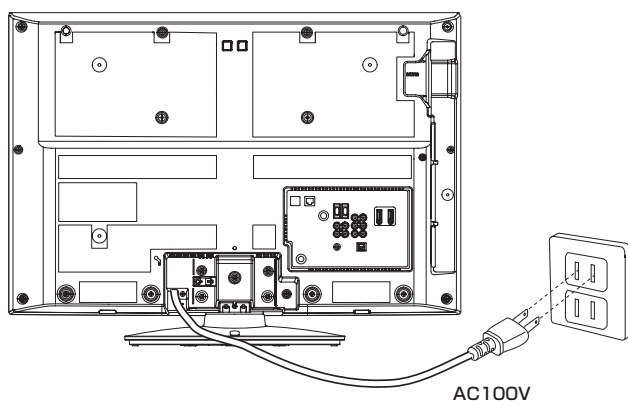
⚠警告

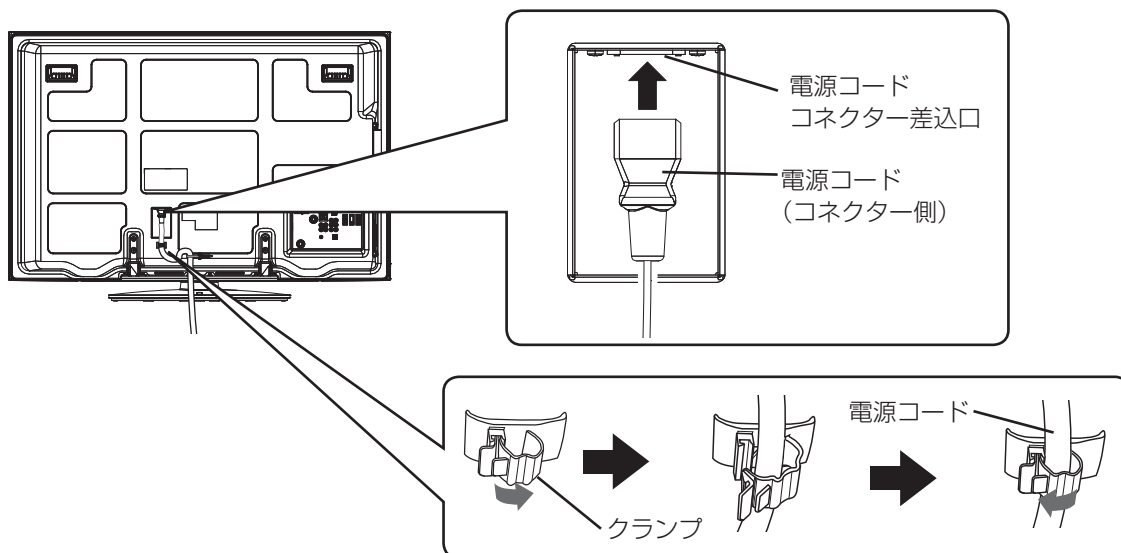
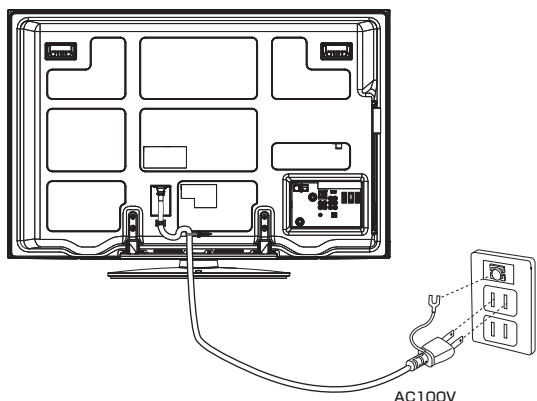
指定の電源電圧でご使用ください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

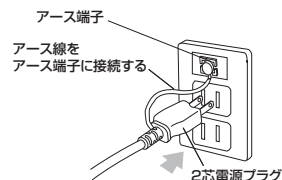
⚠注意

- ●電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください。本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。
- ●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

液晶テレビのとき

1 テレビの電源プラグをコンセントに差し込む

プラズマテレビのとき

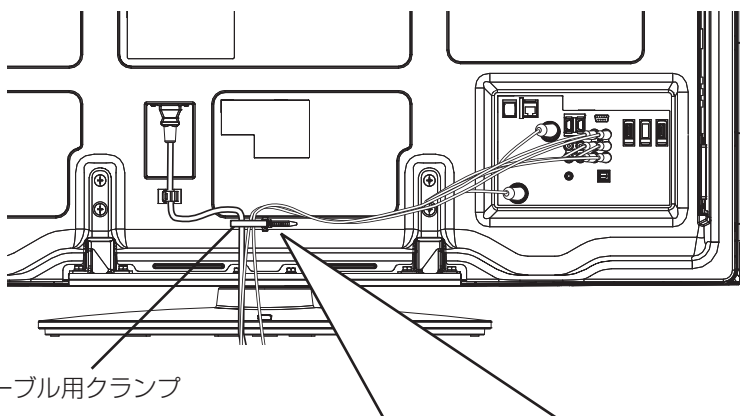
1 テレビに電源コードを接続し、クランプで固定する

2 テレビの電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグのアース線接続について

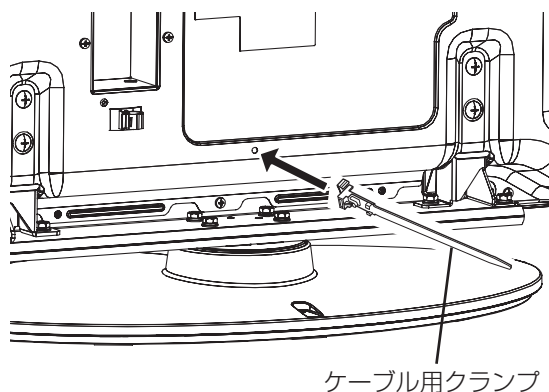
●アース線の接続は、必ず電源プラグを電源に接続する前に行ってください。
●アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源からとりはずしてから行ってください。

お知らせ

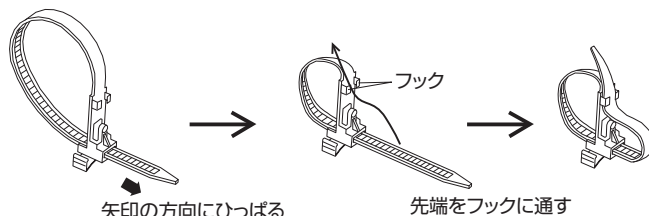
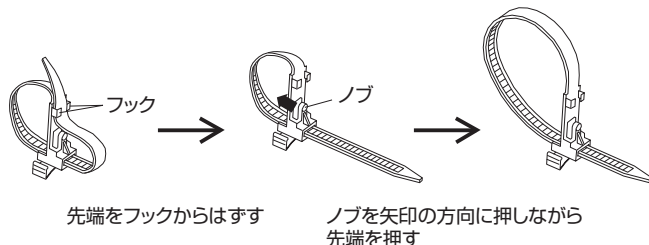
3 芯コンセントを使用しアース接地ができない場合は、お客様相談センター 291 へお問い合わせください。

3 芯コンセント

ケーブルの固定について

電源コード、RF ケーブル、ビデオコードなどと一緒にケーブル用クランプで固定してください。

ケーブル用クランプを取り付ける

付属のケーブル用クランプを本体後面カバーの穴に差し込みます。

ケーブル用クランプの留めかた

留める

はずす

電源を入れる

電源を入れる

1 リモコンの電源ボタン［電源］（赤）を押す

本体のスタンバイ / 受像ランプが点灯し、電源が入ります。

電源を切るときは、もう一度、［電源］を押します。
本体のスタンバイ / 受像ランプが赤色に点灯し、電源が切れます。

お知らせ

スタンバイ / 受像ランプについて

●スタンバイ / 受像ランプが赤く点灯しているときに、リモコンの［電源］を押すと電源が入ります。
●電源を「入」にしたあと、画面が出るまでは受像ランプが点滅します。

すぐに操作できるようにする（高速起動）

電源が切れている状態から操作がすぐにできるように設定できます。
メニュー「各種設定」の「高速起動」を設定してください。195

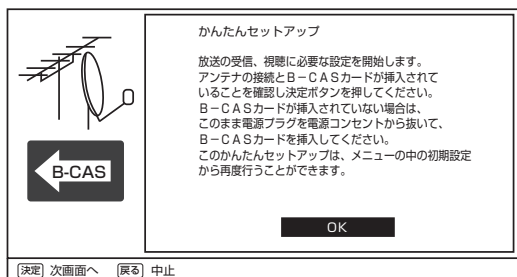
お知らせ

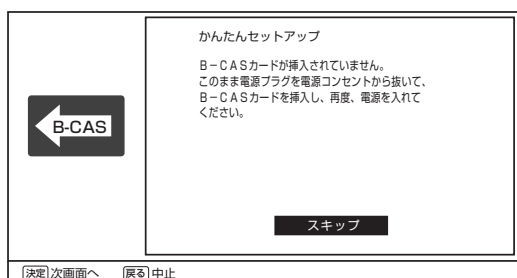
高速起動を設定すると、電源を切ったときの待機消費電力が増加します。

かんたんセットアップをする

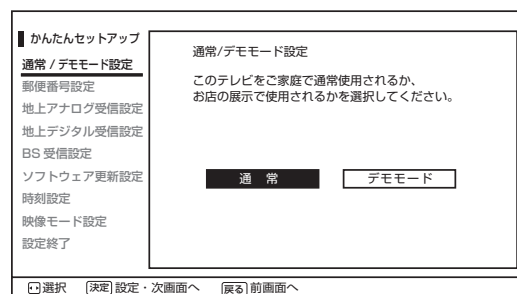
本機の電源をはじめて入れると、かんたんセットアップが自動的に起動します。かんたんセットアップはテレビ放送の視聴に必要な設定を行うための機能です。
メニューの「各種設定」－「初期設定」－「受信設定」画面の「かんたんセットアップ」から再度行うことができます。200
メニューの「各種設定」－「初期設定」－「受信設定」画面の「受信設定（地上アナログ）」、「受信設定（地上デジタル）」等から個別に設定することもできます。201、212

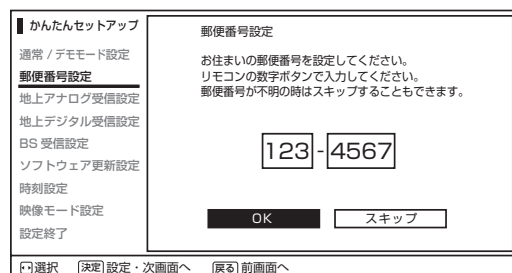
かんたんセットアップ起動後・・・

1 決定を押す

● 決定を押すと、通常 / デモモード設定へ進みます。
● 戻るで、かんたんセットアップを終了します。

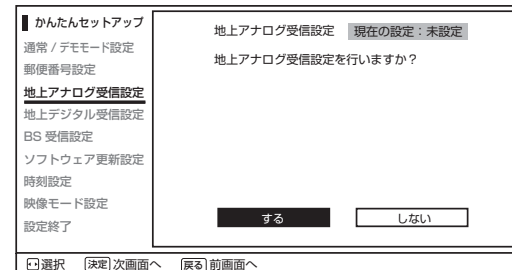
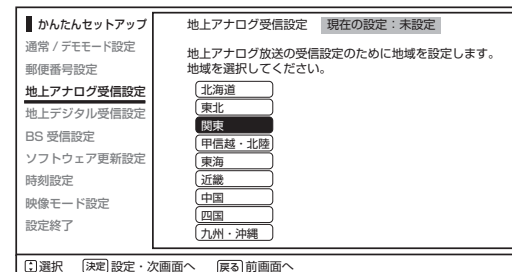
B-CAS カードが挿入されていない場合

電源プラグを電源コンセントから抜いて、B-CAS カードを挿入して、再度電源を入れてください。

通常 / デモモードを設定する

2 ◁▷で「通常」か「デモモード」を選択し、決定を押す

郵便番号を設定する

3 お住まいの地域の郵便番号（7 桁）を 1～10/0 し、△▽で「ＯＫ」を選び、決定を押す

「スキップ」を選択すると、郵便番号を設定しないで次へ進みます。

地上アナログの受信設定をする

4 ◁▷で「する」「しない」を選び、決定を押す

5 △▽でお住まいの地域を選び、決定を押す

「地域」「都道府県」「市町村」の順に設定します。

お知らせ

●該当する地域がない場合は、4で「しない」を選択し、かんたんセットアップ終了後、メニューの受信設定（地上アナログ）201で再設定を行ってください。
●お住まいの地域または最寄りの地域を選んでください。
●複数の同一都市名があるときは、地域番号一覧表 202 の受信チャンネルを参考に選んでください。
●場所によっては放送局が異なり、正しく受信できない場合があります。55

かんたんセットアップをする（つづき）

地上デジタルの受信設定をする

6 [▲▼]でお住まいの地域を選び、[決定]を押す

「地域」「都道府県」の順に設定します。

7 ケーブルテレビを受信する場合は「する」、受信しない場合は「しない」を[◀▶]で選択し、[決定]を押す

8 [◀▶]で「開始」を選び[決定]を押す 初期スキャン終了後、[決定]を押す

地上デジタル放送をご覧にならない場合は「スキップ」を選択してください。地上デジタルの受信を設定しないで次に進みます。

BS の受信設定をする

9 [◀▶]で「連動」「切」「スキップ」のいずれかの項目を選び、[決定]を押す

連動　　：個別にアンテナを設置されている方
切　　　：マンション共聴や CATV などでご利用の方
　　　　　ビデオなどの他の機器からコンバーター電源を供給されている方
スキップ：BS 放送をご覧にならない場合

10 [決定]を押す

ソフトウェア更新設定をする

11 [▲▼]で「自動」「する」「しない」のいずれかの項目を選び、[決定]を押す

自動　：更新を自動で実施します（推奨）
する　：更新をお知らせします
しない：更新をしません

日付・時刻の設定をする

12 設定または変更したい個所を[◁▷]で選び、[△▽]で設定する
最後に「OK」を選んで[決定]を押す

映像モードの設定をする

13 [△▽]で映像モードを選択し、[決定]を押す

かんたんセットアップの終了

14 [決定]を押し、かんたんセットアップを終了します

かんたんセットアップはメニューの受信設定から再度行うことができます。

お知らせ

日付・時刻の設定について

- BS・CS デジタル放送または地上デジタル放送を受信している場合は、デジタル放送の時刻情報で自動的に時刻を設定します。その場合、本ページの手順で日付・時刻を設定することはできません。
- アクトビラに接続する場合、日付・時刻が設定されている必要があります。

お知らせ

- 地上アナログ放送が正しく受信できない場合や、他のチャンネルを追加したい場合は、メニューの受信設定（地上アナログ）208で再設定を行ってください。
- インターネット接続またはデータ放送で必要となる電話回線、ISP 設定は、メニューの「電話回線設定」221、「ISP 設定」225 から行うことができます。